

教育史学会

第55回大会プログラム

2011年10月1日(土)～2日(日)

京都大学

全国学力調査報告書をはじめ、貴重な学力調査の記録を集成!

戦後日本学力調査資料集

●【監修】山内乾史・原清治

●B5判・上製・総約9,000頁

全Ⅲ期・全24巻

*学力を広く考察するための基本資料として、戦後日本で行なわれた主要な学力調査関係の文献をはじめて集成。

*代表的な調査である「文部省全国学力調査」は、第1回報告書である昭和31年度版から、最終報告書となった昭和41年版までを完全収録。その他にも、1940年代後半から1960年代にかけて、さまざまな機関で行われた調査報告を多数収録。

巻数	収録内容	編著・発行	発行年
1	昭和31年度 全国学力調査報告書 国語・数学	文部省	1957
2	昭和32年度 全国学力調査報告書 社会・理科	文部省	1958
3	昭和33年度 全国学力調査報告書 小学校——音楽・図画工作・家庭 教科以外活動 中学校——英語・職業・家庭 高等学校——英語・保健体育	文部省	1959
4	昭和34年度 全国学力調査報告書 国語・数学	文部省	1960
5	昭和35年度 全国学力調査報告書 社会・理科	文部省	1961

I	全5巻	定価：84,000円	大好評発売中!
II	全9巻	定価：126,000円	2012年1月刊行
III	全10巻	定価：126,000円	2012年6月刊行

※定価、刊行年月は変更になる場合がございます。

教育問題を考えたいすべての人に贈るシリーズ!

どう考える? ニッポンの教育問題

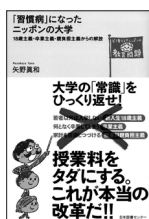
●四六判・並製・各平均290頁 ●各定価1,575円

シリーズ最新刊

「習慣病」になったニッポンの大学

18歳主義・卒業主義・親負担主義からの解放
矢野眞和 著

「大学改革」ってなんだろう?受験生も親も先生も、大学教授さえわかってない!戦後の経済の動きから大学の改革の流れを徹底分析。「授業料」をタダにして、社会の仕組みを変えよう!と提言する画期的一冊が登場!!



若者はなぜ「就職」できなくなったのか?

生き抜くために知っておくべきこと
児美川孝一郎 著

就職できない若者があふれる現在、学校や親には何ができるのか?若者たちは何を知らなければならないのか?ルールなき時代を生き抜くためのリアルな入門書、遂に登場!!



教育問題はなぜまちがって語られるのか?

「わかつたつもり」からの脱却
広田照幸・伊藤茂樹 著

「学力低下」「いじめ」「少年犯罪」「指導力不足教員」みんな教育問題について語るけど、出口のない水掛け論や居酒屋談義が多すぎる!「教育問題を考えるため」の「超」入門書が誕生!!



人間失格?

「罪」を犯した少年と社会をつなぐ
土井隆義 著

少年たちはなぜ罪を犯すのか?その罪は彼らだけの責任なのか?モンスター視される少年たちと、社会との関係を探り、希望の糸を紡ぐ必読の一冊!!



シリーズ続刊! (2011年8月~12月刊行予定) ※タイトルは変更になる場合がございます。

「いじめ」という透明な暴力

加野芳正 著

道徳教育はどこまで「道徳的」か? 松下良平 著

教育の公共性を考える

友だち民主主義をこえて— 小玉重夫 著

学校に行く意味・休む意味 —不登校ってなんだろう?— 滝川一廣 著



日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL03-3947-9387 FAX03-3947-1774
http://www.nihontosh.co.jp

[価格税込]

■呈内容見本

教育史学会

第55回大会プログラム

2011年10月1日(土)～2日(日)

京都大学

主催 教育史学会
共催 京都大学大学院教育学研究科

教育史学会第 55 回大会 参加のご案内

大会参加費、懇親会費について

第 55 回大会では、院生会員（臨時学生会員を含む）の大会参加費を無料とします。確認のため学生証をお持ちください。

また、大会参加費と懇親会費について、前納方式を採用します。大会当日の受付をスムーズに行うためにも、会員の皆様のご協力をお願い致します。

①大会参加費、懇親会費

	前納（8月31日まで）		当日	
	一般会員	院生会員	一般会員・臨時会員	院生会員・臨時学生会員
大会参加費	3,000 円	—	3,500 円	—
懇親会費	4,500 円	2,500 円	5,000 円	2,500 円

②振込先

ゆうちょ銀行 口座名称:教育史学会第 55 回大会準備委員会、口座番号:00920-7-322374

※「教育史学会第 55 回大会 開催のご案内」（5 月末に学会事務局から送付済み）と一緒にお送りした郵便振込用紙（青色）をご利用ください。紛失された方は、郵便局に備え付けの用紙をお使いください。なお、学会事務局に学会年会費を支払うための郵便振込用紙（赤色）とお間違えのないようご注意ください。

※ゆうちょ銀行・郵便局以外の銀行からのお振込の場合は振込先は、下記の通りとなります。

ゆうちょ銀行 店名：〇九九店 預金種目：当座 口座番号：0322374

③振込期限 2011 年 8 月 31 日（水）（期日厳守）

※振込手数料はご本人の負担になります。

※お振込みいただいた大会参加費、懇親会費のキャンセルは、2011 年 8 月 31 日（水）までに準備委員会事務局へファックスか E メールでご連絡いただいた場合に限り、受け付けます。準備委員会から返金する際の振込手数料は、ご本人の負担とさせていただきますので、お振り込みいただいた金額から、手数料を差し引いた額を返金いたします。

受付

大会参加の受付は、文学部新館 2 階で行います。大会受付、個人発表会場、コロキウム会場ともに教育学部ではなく文学部の建物を利用しますので、ご注意ください。

〈参加費を前納された方〉

受付へ「払込受領証」（ご利用明細）をご持参ください。確認後、『発表要綱集録』と名札（記入済）等をお渡します。

〈当日お支払いされる方〉

受付で大会参加費（一般会員・臨時会員…3,500 円）をお支払いください。『発表要綱集録』と名札（未記入）等をお渡しいたしますので、大会会場へ行かれる前に名札にご所属とお名前の記入をお願い致します。懇親会への参加も受け付けいたします。

※学会年会費の納入は、学会事務局の受付で行います。

シンポジウム（公開）

シンポジウムのテーマは、「教育史研究における大学史研究の位置」です。公開シンポジウムですので、会員以外の方も参加できます。会場は、芝蘭会館稲盛ホールです。詳細は、本プログラム 9 ページをご参照ください。

研究発表・コロキウム

- ① 研究発表時間は、一人あたり 30 分（研究発表 25 分、質疑 5 分）です。
- ② 発表内容は未発表の研究に限ります。
- ③ 発表者が欠席の場合、発表時間の繰り上げは行いません。また、発表者が遅刻の場合は、発表資格を失います。ご注意ください。
- ④ 発表に関わるレジュメ、資料などを会場で配布される場合、十分な部数をご用意ください。大会準備委員会では、印刷・増刷に応じられません。
- ⑤ 本大会では、コロキウムのいっそうの充実を図るため、正規の時間帯に組み込み、時間も長めに確保してあります。ふるってご参加ください。

懇親会

10 月 1 日（土）のシンポジウム終了後、18 時 15 分より芝蘭会館山内ホールで懇親会を開催いたします。懇親会費は、前ページの「大会参加費、懇親会費」をご参照ください。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

昼食

10 月 1 日（土）、2 日（日）ともに、カフェテリア「ルネ」、カフェレストラン「カンフォーラ」を利用できます。カフェテリア「ルネ」は総合博物館から東大路通を隔てて反対側、西部生協会館の 2 階にあります（営業時間は土曜 11:00～19:30、日曜 11:00～14:00）。カフェレストラン「カンフォーラ」は正門の西側にあります（営業時間は土・日曜ともに 11:00～15:00）。

会場までのアクセス

- ① 京都大学（吉田キャンパス）までのアクセスは本プログラム 6 ページをご参照ください。
- ② 駐車場の用意はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

宿泊

宿泊につきましては、各自での手配をお願い致します。大会準備委員会による斡旋は行いませんのでご了承ください。

託児サービス

大会期間中、会場内にベビーシッター会社の運営委託による託児室を開設します。託児室をご利用の方は次頁の要領でアルファコーポレーションにお申し込みください。また、託児室近くに授乳室、親子休憩室を設けます。

授乳室、親子休憩室のみのご利用についてはご予約は不要ですが、会場へのアクセスについて連絡事項がございますので、事前に大会準備委員会までご連絡いただくか、当日、受付または大会事務局にお申し出ください。

< 託児サービス要領 >

申込期間	2011年9月25日（日）まで 2011年10月1日（土） 第1部 8:30～13:00 第2部 13:00～18:15 2011年10月2日（日） 第1部 8:30～13:00 第2部 13:00～18:00 ※昼食時はお子様をお迎えにいらしてください。お子様の昼食のご準備をお願いいたします。 ※両日共に、プログラム開始30分前から受付を開始し、プログラム終了30分後には託児室を閉めます。時間厳守で送り迎えをお願いいたします。 ※託児時間の範囲で、ご利用者のスケジュールにあわせてご利用時間をお決めいただくことができます。
託児定員	最大10名（各部）
託児室場所	セキュリティ確保のため、お申込者へのみご連絡いたします。
申込方法	注意事項等をお読みのうえ、下記必要事項をご記入いただき、アルファコーポレーションまで直接メールにてご予約下さい（その際に大会準備委員会のアドレスもCCに含めてください）。アルファコーポレーションによるご予約確認の返信メールに、利用申込書と託児室のご案内が送信されます。 ご予約メールアドレス： yoyaku@alpha-co.com ご予約時に、メールで以下の1～4をお知らせください。 1) 保護者氏名・所属・連絡先・携帯電話番号 2) お子さまの名前（ふりがな）・年齢・性別 3) 保育希望日及び託児希望の部 4) 保育上やアレルギー等健康上の注意点 ※ご質問時のサブジェクトは「教育史学会託児室+（ご用件）」とお書き下さい。
対象年齢	3ヶ月～小学校6年生
委託先	(株) アルファコーポレーション http://www.alpha-co.com
託児料	1部あたり1500円（税込） ※ただしオムツなどの実費は除きます。 ※託児料は当日託児室受付にてお支払い下さい。お支払の際、おつりの出ないようにお願いいたします。
キャンセル	2011年9月28日（水）17:00までにご連絡下さい。連絡先：075-212-7555 これ以降のご連絡は、お申し込みされた時の託児料金の100%をキャンセル料として申し受けます。キャンセル料は、期間中託児室にて直接お支払いいただくか、後日大会準備委員会へ宛ててお振込み下さい。
持ち物	①保護者の身分証明書（健康保険証・運転免許証・母子健康手帳・学生証など） ②託児利用申込書（記入捺印の上、利用初日に保育スタッフにお渡し下さい。） ③保育に必要なもの ・オムツ・お尻拭き・ミルク・哺乳瓶・着替え・タオル・おやつ・ビニール袋などを1つのバッグにまとめてお預け下さい。 ・お持ち物すべてにお名前をご記入ください。
注意事項	①託児時間を越える保育は一切行いません。送り・迎えとも時間厳守でお願いいたします。 ②お子さまのお手洗いを済ませられたあと、ご来室ください。 ③当日37.5℃以上のお熱がある場合や体調不良の場合、また集団保育に適さないと判断した場合はお預かりできない場合があります。 ④保育スタッフによる投棄は致しかねます。 ⑤急な発熱など緊急時には保護者さまの携帯電話にご連絡いたします。緊急連絡先は毎日必ず保育スタッフにお知らせ下さい。また、その際は迅速なご対応をお願いします。 ⑥お子さまのお迎えまでに、大会参加受付をお済ませ下さい（場合によっては、大会参加を確認する際に、参加費領収証をご提示いただくことがございます）。
注意事項2	不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲で補償いたします。また、教育史学会は、事故の責任を負いません。

問い合わせ先

教育史学会 第55回大会準備委員会 事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育学研究科 駒込研究室

Tel : 075-753-3034 FAX : 075-753-3034

E-mail : jshse55@educ.kyoto-u.ac.jp

Homepage : <http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/jshse/55/index.htm>

タイムスケジュール

2011年10月1日(土)		2011年10月2日(日)	
8:15	受付 (文学部新館 2F 第3講義室前)	受付 (文学部新館 2F 第3講義室前)	8:15
9:00	研究発表 (文学部新館 第1・第2・第4・第6・ 第7講義室)	研究発表 (文学部新館 第1・第2・第4・第6・ 第7講義室)	9:00
12:00	昼休み	昼休み	11:30
13:00	総会 (芝蘭会館稲盛ホール)	研究発表 (文学部新館 第1・第2・第4・第5・ 第6・第7講義室)	12:30
14:00	シンポジウム (芝蘭会館稲盛ホール)	移動	15:00
		コロキウム (文学部新館 第1・第2・第4・第6・ 第7講義室)	15:10
17:45	移動		17:30
18:15	懇親会 (芝蘭会館山内ホール)		
20:30			

※このほかに、9月30日(金)には、理事会、機関誌編集委員会、書評委員会が予定されています。

教育史学会 第55回大会準備委員会 準備委員 (50音順)

沖田行司(同志社大学)、越水雄二(同志社大学)、駒込武(京都大学)、小山静子(京都大学)、谷川穰(京都大学)、辻本雅史(京都大学)、西山伸(京都大学)、宮坂朋幸(びわこ学院大学)、山名淳(京都大学)

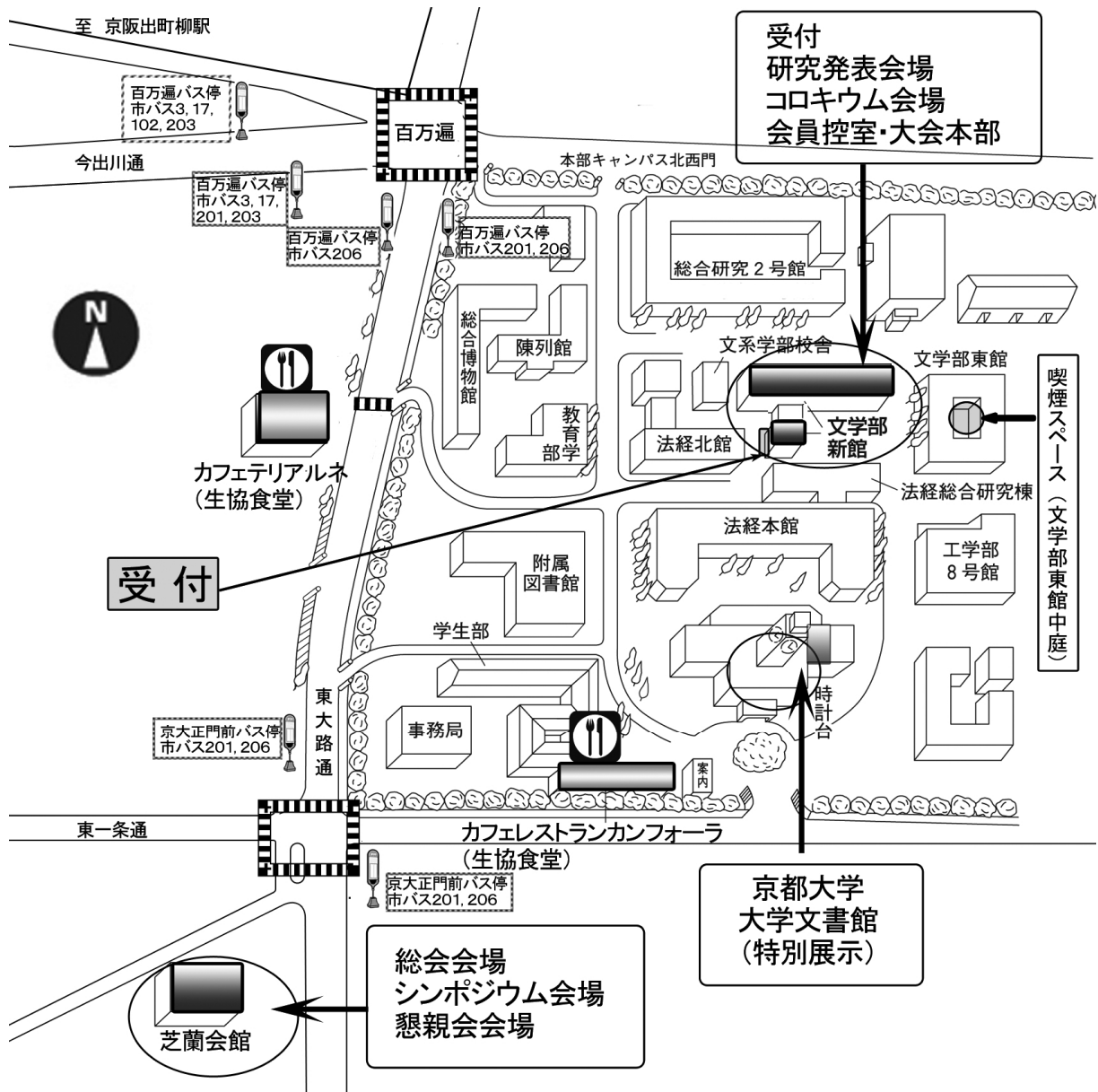
交通案内図



【京都駅からの交通】

- ① JR 京都駅より地下鉄烏丸線に乗り「今出川駅」下車、市バス（102 系統「急行 出町柳駅 銀閣寺」行 or 201 系統「百万遍・祇園」行 or 203 系統「今出川通 銀閣寺道・錦林車庫」行）に乗り換え「百万遍」下車（乗り換えを含めて約 30 分）。
 ※新幹線から地下鉄烏丸線に乗り換える際には、新幹線のコンコースから「八条東口」（東京寄り・南側）に出るとスムーズに乗り換えできます。また、地下鉄今出川駅で市バスに乗り換える際には、南改札口を経て出入口 3 番（エレベーターあり）に出ると便利です。
- ② JR 京都駅中央口バスターミナルより特 17 系統で「百万遍」下車（約 40 分）。
 ※観光シーズンには道路が混み合い、大幅に到着が遅延する可能性があります。
- ③ JR 京都駅からタクシーで約 25 分。2000 円程度。

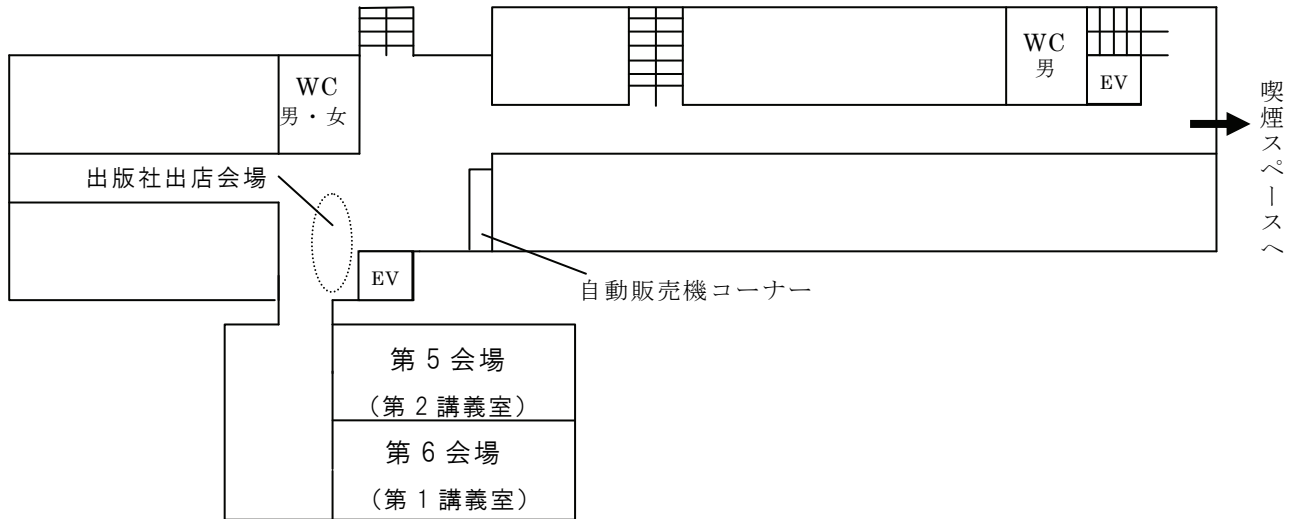
構内案内図



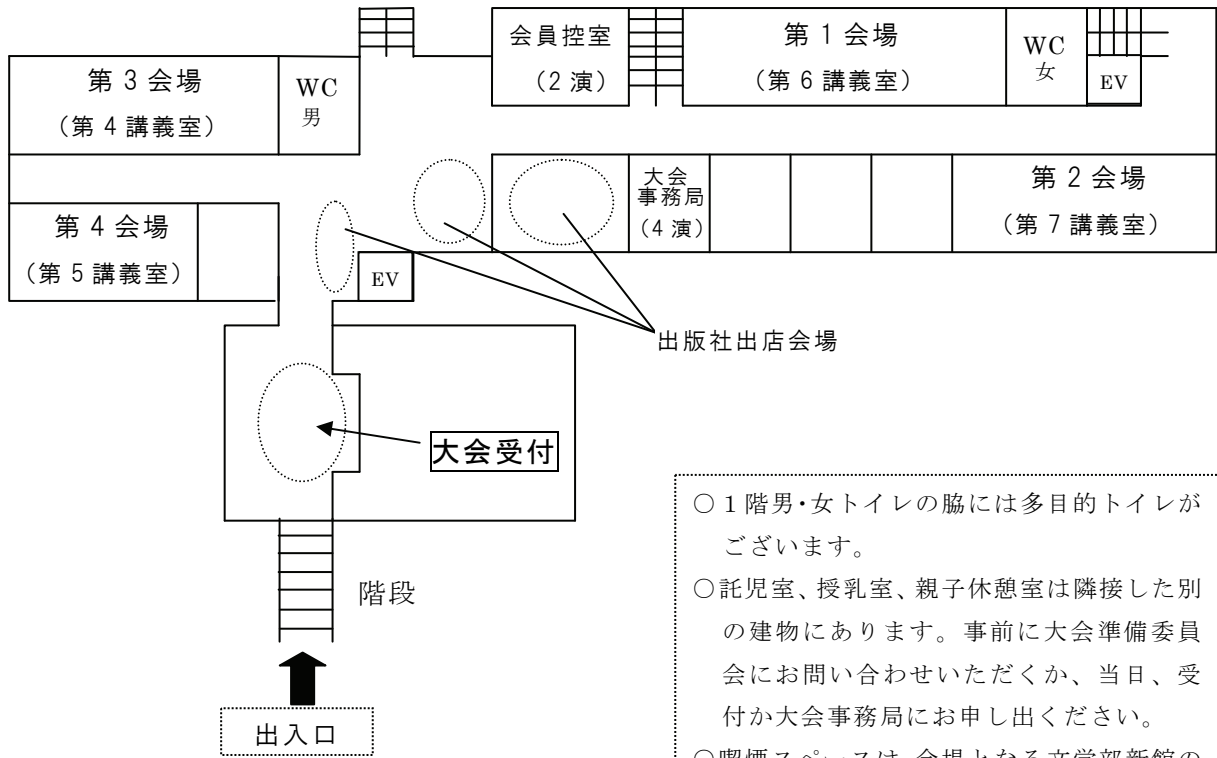
- ① 受付は文学部新館の南側の建物の2階、見通しがききにくい場所にあります。法経北館と法経本館のあいだの通路を通ってこられるとわかりやすいです。
- ② 百周年時計台記念館の1階に歴史展示室があります。時計台記念館の正面からお入りください。歴史展示室では常設展示「京都大学の歴史」のほか、「京大教育学部と教育学研究の戦前・戦中・戦後」(仮)と題する特別展示を行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。開館時間は土曜・日曜ともに9:30から17:00です。なお、閲覧室は土曜・日曜ともに休室です。
- ③ お食事場所としてはカフェテリア「ルネ」、カフェレストラン「カンフォーラ」のほかに、時計台記念館の地下に「タリーズコーヒー」(土・日曜営業)、1階にフレンチレストラン「ラトゥール」(土・日曜営業、要予約 075-753-7623) もあります。

会場配置図

【文学部新館 1 階】



【文学部新館 2 階】



- 1階男・女トイレの脇には多目的トイレがございます。
- 託児室、授乳室、親子休憩室は隣接した別の建物にあります。事前に大会準備委員会にお問い合わせいただくか、当日、受付か大会事務局にお申し出ください。
- 喫煙スペースは、会場となる文学部新館の東側、文学部東館の中庭となります。

－ シンポジウム －

第55回大会のシンポジウムは、下記の要領で行います。なお、報告者のひとりを予定していたハインツ＝エルマー・テノルト教授はご病気により来日できないこととなりました。関係各位と協議の上、理事会の承認を得て、シンポジウムの報告者等を下記の通り変更し、趣旨説明文も若干修正いたしました。テーマ、日時、場所に変更はございません。以上の点についてご了解いただくとともに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

テーマ：教育史研究における大学史研究の位置

日 時：2011年10月1日（土）14:00～17:45

場 所：京都大学医学部芝蘭会館 稲盛ホール

報 告 者	寺崎 昌男（立教学院） 別府 昭郎（明治大学） 西山 伸（京都大学）
指定討論者	児玉 善仁（帝京大学） 羽田 貴史（東北大学）
司 会 者	新谷 恭明（九州大学） 鈴木 晶子（京都大学）

《趣旨》

大学史研究は、中等教育史のような研究領域と並立する、教育史研究の一分野という性格をもつ。他方で、教育史という専門分野の成立と変容のプロセスは、それ自体として大学における学問史の一部分をなしてもいる。大学史が教育史の一部でもあり、教育史が大学史の一部でもあるという、合わせ鏡のような構造が存在しているともいえる。この構造は、教育史研究にどのような課題を投げかけているのか。教育史研究における大学史研究の位置はどのようなものであり、どのような立脚点から大学史を叙述すればよいのか。世界的にも大学が巨大な変動にさらされている今日であるからこそ、大学を大学たらしめると考えられてきた諸制度に即して、原理的かつ歴史的な検証を行うことが必要といえる。

大学を大学たらしめると考えられてきた諸制度として、学位制度や学部組織を挙げることができる。文・理・法・医といった学部の伝統的分類は中世ヨーロッパに起源する学問体系を基礎とするものであり、専門学のディシプリンが学部創設の前提とみなされてきた。ディシプリンとこれに基づく学問研究の「水準」への評価は、学位制度や講座制と相まって「学部自治」の基盤を提供するとともに、学問分野間の優劣、大学間の格差、大学の構成員間（正規・非正規教員、職員、学生）の序列を形作る要素ともなってきた。ただし、今日では「専門学の液状化」とも称されるように、ディシプリンという概念の存在根拠自体が危うくなってきている。大学と国家との関係、大学における教える者と学ぶ者の関係は歴史的にどのような問題をはらんできたといえ

るのか。このような問いを立てることが、従来の教育史研究の視野をどのように拡張・再編していくことになるのかを含めて考えてみたい。さらに、大学沿革史の編纂体制や、大学史研究の内容を博物館における展示や講義室における授業を通じて共有していく手法をめぐる諸問題まで射程に入れながら、教育史研究上における課題を明確化していきたい。

<報告者プロフィール>

○ 寺崎 昌男 (てらさき・まさお)

立教学院本部調査役、東京大学・桜美林大学名誉教授。教育学博士。『立教学院百年史』『立教学院百二十五年史』『東洋大学百年史』『誠之小学校百年史』『拓殖大学百年史』の執筆・編纂・顧問ならびに『東京大学百年史』の編集責任に当たる。著書には『日本における大学自治制度の成立』（評論社、1992年、増補版2000年）、『プロムナード東京大学史』（東京大学出版会、1992年）『大学自らの総合力』（東信堂、2010年）等の他、共著に『御雇教師ハウスクネヒトの研究』（竹中暉雄・樽松かほると共著、1991年）などがある。1993-94年、本学会代表理事。

○ 別府 昭郎 (べっふ・あきお)

明治大学文学部教授。博士（教育学）。著書に『ドイツにおける大学教授の誕生』（創文社、1998年）、『明治大学の誕生—創設の志と岸本辰雄—』（学文社、1998年）、編著に『「大学」再考—概念の受容と展開—』（知泉書館、2011年）共編著に『大学史をつくる—沿革史編纂必携—』（寺崎昌男・中野実と共編、東信堂、1999年）などがある。

○ 西山 伸 (にしやま・しん)

京都大学文学部文書館准教授。文学修士。『京都大学百年史』の編集実務に当たる。共編著に『田中秀央 近代西洋学の黎明—「憶い出の記」を中心に—』（菅原憲二・飯塚一幸と共編、京都大学学術出版会、2005年）、共著に『近代京都研究』（思文閣出版、2008年）、『知の伝達メディアの歴史研究—教育史像の再構築—』（思文閣出版、2010年）などがある。

<指定討論者プロフィール>

○ 児玉 善仁 (こだま・よしひと)

帝京大学理工学部教授。博士（教育学）。著書に『イタリアの中世大学—その成立と変容—』（名古屋大学出版会、2007年）、共編著に『大学の指導法—学生の自己発見のために—』（別府昭郎・川島啓二と共編、東信堂、2004年）、訳書に『中世イタリアの大学生活』（平凡社、1990年）などがある。

○ 羽田 貴史 (はた・たかし)

東北大学高等教育開発推進センター教授。教育学修士。著書に『戦後大学改革』（玉川大学出版部、1999年）、共編著に『大学と社会』（安原義仁・大塚豊と共編、放送大学教育振興会、2008年）、分担執筆に『広島大学50年史（通史編）』（広島大学50年史編集委員会、2007年）などがある。

- 研究発表 -

10月1日(土) 第1日 午前の部(9:00~12:00)

第1会場 第6講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 木村政伸(筑紫女学園大学) 梅村佳代(奈良教育大学・名誉)

- [1] 9:00 「一文不通」の平安貴族
鈴木理恵(広島大学)
- [2] 9:30 百姓自署からみた17世紀前半日本における識字状況の一事例
八鍬友広(新潟大学)
- [3] 10:00 武蔵国増上寺領王禅寺村における識字状況
一寛政期・文化期村方騒動を通してみた一
大戸安弘(横浜国立大学)
- [4] 10:30 『継声館日記』にみる郷学「継声館」の教育
太田素子(和光大学)
- [5] 11:00 近世中期における「孝子文化」の形成とその意義
一教化と文化の間一
VAN STEENPAAL NIELS(京都大学・院)

〈総合討論〉 11:30~12:00

第2会場 第7講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 逸見勝亮(北海道大学) 小股憲明(大阪芸術大学)

- [6] 9:00 開拓使の札幌農学校開校(1876年)の意図
井上高聡(北海道大学)
- [7] 9:30 対雁学校の歴史
一北海道に強制移住させられた樺太アイヌの教育史一
小川正人(北海道立アイヌ民族文化研究センター)
- [8] 10:00 1886年から1898年までの北海道における私立初等教育機関の実態
坂本紀子(北海道教育大学)
- [9] 10:30 1890年代の府県聯合学事会・地方部学事会議に関する研究
湯川嘉津美(上智大学)
- [10] 11:00 近代日本の教育法令の体系と構造
米田俊彦(お茶の水女子大学)

〈総合討論〉 11:30~12:00

- 研究発表 -

(10月1日午前)

第3会場 第4講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 遠藤孝夫 (岩手大学) 山内紀嗣 (広島大学)

- [11] 9:00 18世紀ドイツにおける子育ての近代化
—ファウスト『衛生問答』に注目して—
藤井基貴 (静岡大学)
- [12] 9:30 1920年代ドイツにおける総合雑誌の教育論の位相
—Deutsche Rundschau の分析
清水禎文 (東北大学)
- [13] 10:00 学校田園寮運動とヒトラー・ユーゲントの関係に関する研究
江頭智宏 (鹿児島大学)
- [14] 10:30 戦後オーストリアにおける職業教育改革
—イシューール会議 (1946年) に着目して—
田中達也 (京都栄養医療専門学校)
- 〈総合討論〉 11:00~12:00

第5会場 第2講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 井上恵美子 (フェリス女学院大学) 友野清文 (昭和女子大学)

- [15] 9:00 日本女子大学校における「実践倫理」講義
—『日本女子大学校長成瀬仁蔵先生述 実践倫理講話筆記』の検討から—
長野和子 (日本女子大学・院)
- [16] 9:30 日清戦争後中国における日本の女子教育情報
—呉汝綸による日本視察 (1902) を通して—
董秋艶 (九州大学・院)
- [17] 10:00 なぜ水兵の服が女学生の服になったのか?
—セーラー服を「結界」と考える試み—
岡本洋之 (兵庫大学)
- [18] 10:30 看護職養成校の実態研究
—1930年代・職業と教育の接続の視点から—
仲島愛子 (一橋大学・院)
- 〈総合討論〉 11:00~12:00

第6会場 第1講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 木村元 (一橋大学) 鳥居和代 (金沢大学)

- [19] 9:00 国民道徳論における井上哲次郎の課題
～明治三十年代の国語問題を手掛かりに～
瓜谷直樹 (同志社大学・院)
- [20] 9:30 沢柳政太郎における「実際的教育学」の含意について
—「学校」を基軸に据える教育学体系の再評価—
佐藤智実 (慶應義塾大学・院)
- [21] 10:00 富士川游と治療教育学
—教育病理学における“治療”と“教育”の架橋—
前田晶子 (鹿児島大学)
- [22] 10:30 児童救済事業から児童保護事業への展開
—石井十次の家族・学校に関する思想と実践を通じて—
稲井智義 (東京大学・院) (日本学術振興会特別研究員)
- [23] 11:00 柳田國男のもつ前代教育観と近代教育観の差異
—著述に記された「教育」という語を手がかりに—
渡部恭子 (慶應義塾大学・院)

〈総合討論〉 11:30～12:00

- 研究発表 -

10月2日(日) 第2日 午前の部(9:00~11:30)

第1会場 第6講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 荒井明夫(大東文化大学) 森川輝紀(福山市立大学)

- [24] 9:00 明治14年政変と教育事務の転回
湯川文彦(東京大学・院)
- [25] 9:30 「質朴堅牢」主義の系譜
—『文部省示諭』「小学校ノ建築」の形成に関する一考察—
川口仁志(松山大学)
- [26] 10:00 雑誌『国民之教育』にみる道德教育論争
—森文政期における『倫理書』編纂過程の再検討—
林子博(京都大学・院)
- [27] 10:30 明治期における直轄学校職員の欧州派遣
鄭賢珠(京都大学・非)
- 〈総合討論〉 11:00~11:30

第2会場 第7講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 吉川卓治(名古屋大学) 大島宏(東海大学)

- [28] 9:00 務台理作の教育理念論の形成と展開
金井徹(修紅短期大学)
- [29] 9:30 戦後教育行政改革に果たした小日向会の役割—広域行政圏構想を中心にして—
梅本大介(早稲田大学・院)
- [30] 10:00 「学力コンクール」の時代(1946-70)
—東京大学学生文化指導会をはじめとする学生団体が大学受験指導
の一翼を担った頃—
三上敦史(愛知教育大学)
- [31] 10:30 日本における学校福祉行政施策の展開に関する歴史的研究(2)
—京都市教育委員会「生徒福祉課」の設立と学校福祉実践との関連
をめぐって—
大崎広行(目白大学)
- 〈総合討論〉 11:00~11:30

第3会場 第4講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 野々村淑子 (九州大学) 中村雅子 (桜美林大学)

- [32] 9:00 F.G. ボンサーによる初等教育カリキュラムの開発過程
—インダストリアル・アーツの性格とプロジェクトの系譜—
遠座知恵 (東京学芸大学)
- [33] 9:30 ホーレスマン初等教育研究における市民性尺度の開発過程
—プロジェクト・メソッドのための教育測定法作成の実験—
佐藤隆之 (早稲田大学)
- [34] 10:00 世紀転換期アメリカの子どもの発達観とデューイ教育思想
～シカゴ・ミシガン大学を中心に～
神藤佳奈 (明治大学・院)

〈総合討論〉 10:30～11:30

第5会場 第2講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 清水康幸 (青山学院女子短期大学) 佐々木尚毅 (群馬県立女子大学)

- [35] 9:00 明治・大正期中等工業教育の模索と海軍工廠技手養成制度
—高等工業学校との分化過程に即して—
谷口雄治 (職業能力開発総合大学校)
- [36] 9:30 戦前昭和期鹿児島県における青年学校改革の特質に関する一考察
三羽光彦 (芦屋大学)
- [37] 10:00 蠟山政道における国家と大学
—平賀肅学へのかかわりを中心に—
堀之内敏恵 (お茶の水女子大学・院)
- [38] 10:30 文部省推薦図書『女教師の記録』(平野婦美子) 推薦取り消しの経緯
岡崎沙織 (奈良女子大学・院)

〈総合討論〉 11:00～11:30

- 研究発表 -

(10月2日午前)

第6会場 第1講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 古川宣子 (大東文化大学) 羽田貴史 (東北大学)

- [39] 9:00 植民地台湾における義務教育制度の施行
北村嘉恵 (北海道大学)
- [40] 9:30 占領期朝鮮人学校の教育費問題
—「国庫負担請願」の背景とその意味—
松下佳弘 (京都大学・聴講生)
- [41] 10:00 戦後日本における朝鮮人教育と公教育制度
—公費支出構造の形成過程—
マキー智子 (北海道大学・院)
- [42] 10:30 戦後夜間中学における在日朝鮮人女性の位置
—全国夜間中学校研究大会での議論に着目して—
山根実紀 (京都大学・院)
- 〈総合討論〉 11:00~11:30

- 研究発表 -

(10月2日午後)

第3会場 第4講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 山崎洋子 (武庫川女子大学) 白水浩信 (神戸大学)

- [51] 12:30 20世紀初頭イギリス ロンドンにおける教育福祉制度に関する研究
—1906年から1914年子ども保護委員会の活動を中心に—
内山由理 (首都大学東京・院)
- [52] 13:00 アイルランド公教育の成立をめぐって
—研究動向と今後の課題—
岩下誠 (慶應義塾大学)
- [53] 13:30 18世紀後半におけるフランス公教育思想の展開
越水雄二 (同志社大学)
- 〈総合討論〉 14:00～15:00

第4会場 第5講義室 (文学部新館 2階)

司会 : 山田恵吾 (埼玉大学) 森透 (福井大学)

- [54] 12:30 文部省編纂『小学校教師用 手工教科書』にみる教科書国定期の手工科の
特異性とその歴史的意義
平舘善明 (帯広畜産大学)
- [55] 13:00 東京市の公立小学校における学校園の展開
田中千賀子 (武蔵野美術大学・院)
- [56] 13:30 山口県公立小学校における大正新教育運動の展開
—師範附属小学校・郡当局・県学務当局との関係性—
鈴木和正 (広島大学・院)
- [57] 14:00 戦後カリキュラム改革と自治活動
—1950年代茨城県水海道小の実践を中心に—
越川求 (立教大学・院)
- 〈総合討論〉 14:30～15:00

- 研究発表 -

(10月2日午後)

第5会場 第2講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 湯川嘉津美 (上智大学) 高田文子 (白梅学園大学)

- [58] 12:30 19世紀日本における玩具の変容とその教育機能に関する検討
～玩具に託された《遊び文化》や《身体教育》に着目しながら～
藤田直人 (法政大学)
- [59] 13:00 賀川豊彦の幼児教育思想における歴史的視座
加納史章 (兵庫教育大学・研究生)
- [60] 13:30 師範学校の専門学校程度昇格に伴う保育者養成制度改革に関する一考察
小田義隆 (近畿大学)
- [61] 14:00 戦後日本における保育施設の適正配置をめぐる施策
—東京都渋谷区公私立幼稚園調整審議会の検討を中心として—
松島のり子 (お茶の水女子大学・院)

〈総合討論〉 14:30～15:00

第6会場 第1講義室 (文学部新館 1階)

司会 : 高橋陽一 (武蔵野美術大学) 小野雅章 (日本大学)

- [62] 12:30 近代日本の高等教育機関における「国学」と「神道」
藤田大誠 (國學院大學)
- [63] 13:00 1930年代東京府における小学校児童の伊勢参宮旅行
—量的拡大とその要因—
橋本萌 (お茶の水女子大学・院)
- [64] 13:30 1930年代の小学校訓育における「敬神崇祖」観念の導入
—鳥取県の教育界と神職会の動向に着目して—
高瀬幸恵 (鶴川女子短期大学)
- [65] 14:00 台湾植民地支配と国体明徴運動
駒込武 (京都大学)

〈総合討論〉 14:30～15:00

- コロキウム -

第 2 日

10月2日(日) 15:10~17:30

コロキウム1 第1会場 第6講義室 (文学部新館 2階)

1930~40年代日本における教育団体の変容と再編過程 (3)

— 戦時期から戦後初期への変転 —

オルガナイザー 梶山雅史 (岐阜女子大学)

報 告 者 新谷恭明 (九州大学)

1940年代前半における福岡県教育会『福岡県教育』掲載論攷の検討

佐藤幹男 (仙台大学)

戦後初期における地方教育行政(機関)と職能向上

〈 設定趣旨 〉

戦前の教育団体の最終段階の実態、そして戦後教育発足の過渡期における教育団体の新たな組織論の登場と現実的展開、その歴史的経緯・歴史像の詳細について、前年度コロキウム企画に引き続いてさらに研究の深化・進展を図りたい。

○新谷報告

1940年代前半は日本が太平洋戦争に突入し、戦況が深刻になっていく時期である。

福岡県教育会機関誌『福岡県教育』執筆者の具体像解明、掲載論攷の傾向と内容分析を進め、論攷の時局に果たした意味、戦時教育情報の質を読み解く。

○佐藤報告

戦前において教育会が担った教師の職能向上は、戦後、誰が担うことになったか。

戦後占領期の教育政策や地方における教師の再教育事業の展開、教育行政機構の整備過程等を検討し、戦前の教育会の正負の遺産がどのように戦後に継承されていったのか、一つの視点を提示したい。

- コロキウム -

10月2日(日) 15:10~17:30

コロキウム2 第2会場 第7講義室 (文学部新館 2階)

戦前期中等諸学校における『校友会雑誌』と「学校文化」の研究

オルガナイザー： 斉藤利彦（学習院大学） 稲井智義（日本学術振興会特別研究員）
堤ひろゆき（東京大学・院）

報告者： 斉藤利彦 市山雅美（湘南工科大学） 森田智幸（日本学術振興会特別研究員）
歌川光一（日本学術振興会特別研究員） 瀬川大（学習院大学・非）

〈設定趣旨〉

戦前期において多くの中等諸学校（中学校・高等女学校・実業学校）に「校友会」が結成され、その学内誌として『校友会雑誌』が刊行されていた。それらは、日常的な教育活動や、生徒たちが創りあげた「学校文化」の貴重な記録となっており、多様な角度からの分析が可能である。これら『校友会雑誌』は、その時代の当事者たちが、その時代に記した史料であるという点で、教育史研究における最も重要な一次史料であることはいうまでもない。にもかかわらず、これまでの研究の中で、これらの史料が系統的に収集され、分析されることはまれであった。報告者は、この数年来、旧制中学校および高等女学校を前身にもつ高等学校、それぞれ700校、1074校に対し『校友会雑誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査を行い、その分析の一部は、斉藤・市山「旧制中学校における『校友会雑誌』の研究」（『東京大学大学院教育学研究科紀要 第48巻』2009年3月）として発表してきた。また、各地の図書館における2000冊に及ぶ『校友会雑誌』の所蔵を確認し、さらに300種類、700冊以上の『校友会雑誌』を収集してきた。その中には、「外地」「外国」であった台湾、朝鮮、満州（新京・大連・奉天）、上海、青島、樺太、ハワイ等の日本人学校の『校友会雑誌』を含んでいる。本コロキウムでは、これらの史料をもとに、『校友会雑誌』のはたした役割を新たな視点からとらえなおし、その性格についての報告と意見交換を行おうとするものである。

- コロキウム -

10月2日(日) 15:10~17:30

コロキウム3 第3会場 第4講義室 (文学部新館 2階)

近代日本におけるエリート教育の編成

—明治期と大正期との対話—

オルガナイザー	富岡 勝 (近畿大学)
司会者	荒井 明夫 (大東文化大学)
報告者	小宮山道夫 (広島大学)
指定討論者	吉川 卓治 (名古屋大学)
	小針 誠 (同志社女子大学)

設定趣旨

「一八八〇年代教育史研究会」では、2005年の教育史学会第49回大会(東北大学)において「一八八〇年代日本教育史の再検討にむけて——高等中学校は何故、どのようにできたのか」と題したコロキウムを開催し、一八八〇年代の教育史を改めて検討する必要性を、高等中学校成立事情の考察を中心に提起した。今回はこれを発展させ、「一八八〇年代における高等普通教育と専門教育の再編」に関する本研究会の近年の取り組みを報告するとともに、大正期に関する研究者との対話を試みる。

『公立大学の誕生—近代日本の大学と地域—』(名古屋大学出版、2010年)を通じて大正期の地域と高等教育との関係を論じた吉川卓治氏と、

『“お受験”の社会史—都市新中間層と私立小学校』(世織書房、2009年)で大正期の私立学校進学ブームを分析した小針誠氏を指定討論者として迎え、地域と高等教育との関係や、帝国大学を頂点とした学校体系の確立などの論点を中心に、一八八〇年代のエリート教育の編成について率直な意見交換を行いたい。参加者からの活発な発言を期待する。

- コロキウム -

10月2日(日) 15:10~17:30

コロキウム4 第5会場 第2講義室 (文学部新館 1階)

「近代教育」のなかの古典と道徳—地域間比較の試み—

オルガナイザー 宮澤康人 (東京大学・名誉教授)
森岡伸枝 (大阪芸術大学短期大学部・講師)
長谷部圭彦 (日本学術振興会・特別研究員)

報告者 宮原佳昭 (南山大学・講師)
「中国近代の学校教育における「読経」問題」
磯貝真澄 (京都外国語大学・非常勤講師)
「ロシア帝政末期ムスリム知識人の「新方式」教育における道徳」
岡本託 (神戸大学・研究員)
「近代フランス上級行政官試験における人文古典知識の受容と変容」

設定趣旨

本コロキウムでは、一般に「近代教育」と見なされているものが、いかにして世界規模で形成されたのか、その過程を構造的かつ動的に把握する糸口として、19世紀から20世紀前半のユーラシアにおける「教育」を、比較史的に検討する。

比較史において求められるのは、世界史的な視座からの地域の選定と、新たな論点の抽出が見込まれるような比較軸の設定である。そこで本コロキウムでは、「教育」と密接な関係にある宗教と文字に基づいて、ユーラシア大陸を大きく三つに分類し、それぞれの代表的な事例を検討する。すなわち、儒教と仏教が広く浸透し、漢字とそれから派生した文字が創出された「東アジア世界」の代表として、**清末から民国初期の中国**、イスラームが価値の根幹を形成し、様々な言語がアラビア文字で表記された「西・中央アジア世界」の例として、**世紀転換期のロシア帝国治下のムスリム** (イスラーム教徒)、そしてキリスト教に基づく世界観が構築され、ラテン文字が広く行き渡った「ヨーロッパ世界」の事例として **19世紀のフランス**を取りあげ、ユーラシア全体を可能な限り視野に収める。他方、比較軸としては、それまでの「教育」との連続性に配慮するために、とくに古典や道徳に注目する。なお、ヒンドゥー教と仏教、そして梵字を特徴とする「南・東南アジア世界」については、今後の課題としたい。各報告に続いて、日本教育史研究からのコメントを受け、より広い見通しをもった議論に繋げていきたいと考えている。

- コロキウム -

10月2日(日) 15:10~17:30

コロキウム5 第6会場 第1講義室 (文学部新館 1階)

男女別学から男女共学へ——セクシュアリティと男女交際——

オルガナイザー	小山 静子 (京都大学)
報告者	前川 直哉 (京都大学・院) 今田絵里香 (京都大学) 小山 静子 (京都大学)
指定討論者	小玉 亮子 (お茶の水女子大学)

〈設定趣旨〉

中等教育機関に通う男子生徒と女子生徒は、思春期のまっただ中を生きているにも関わらず、彼ら・彼女らのセクシュアリティの問題は、これまでの教育史研究において等閑に付されてきたといってもよいだろう。〈性〉が隠された学校空間において、彼ら・彼女らはどのような性的存在であることが求められていたのだろうか。本コロキウムでは、この問題を、中等教育における男女別学から男女共学への転換と絡めながら考察してみたいと思う。そのことを通して、セクシュアリティの視点から見た男女別学や男女共学という問題や、中等教育機関の生徒たちのセクシュアリティのありようについてコロキウム参加者と意見交換を行いたい。

〈報告概要〉

(1)前川直哉「学生男色と女学生の登場」

明治期に流行した学生男色(学生同士の男色)とその背景について考察し、1900年代の女学生の登場を機に学生男色のイメージがどのように変容したのか、また男子学生をとりまく性の環境がどのように変容したのかを考える。

(2)今田絵里香「男女共学と少女雑誌における異性愛表象」

戦後、男女共学が実施されることによって、メディアにおける男女交際イメージは大きな変容を迫られるようになった。本報告では、少女雑誌が異性愛をどのように扱い、女子生徒をどのような性的存在として表象するようになったのか、男女共学実施との関連から考察する。

(3)小山静子「男女共学と純潔教育の登場」

文部省は、戦後すぐから純潔教育に取り組みはじめるが、それはどのような社会的文脈において行われたのか。男女共学の実施と関連づけながら、純潔教育の登場を考える。

- 特別展示 -

「京大教育学部と教育学研究の戦前・戦中・戦後」(仮)

期間：2011年9月6日(火)～11月6日(日) ※10月3日は休館です。

時間：9時30分～17時

場所：京都大学百周年時計台記念館1階 歴史展示室

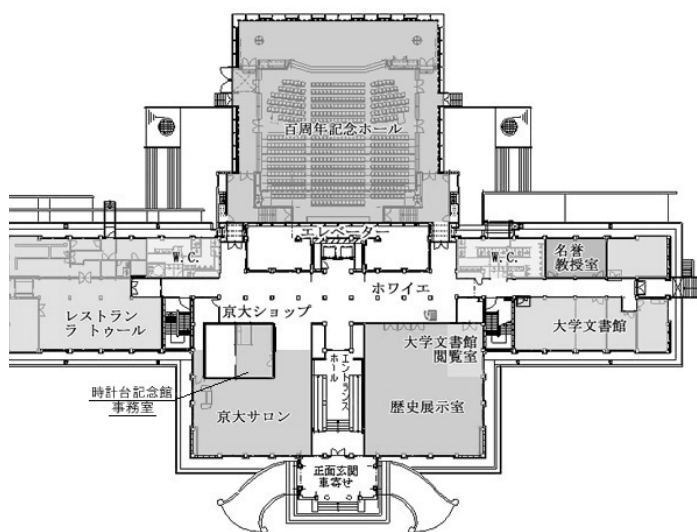
趣旨：

京大における教育学研究の位置は、戦前・戦中における文学部哲学科の一講座から、戦後は独立した学部へと一挙に高められます。京都大学の歴史としては異例なことであり、米軍占領下の天下りの学部出現を揶揄して「ポツダム学部」と称されることもありました。さらに、教育学教授法講座の主任教授であった木村素衛(1895～1946)が学部の創立に先立って早逝、京大における教育学研究の歴史は波乱と曲折に満ちたものとなりました。

本展示では、まず京大教育学部の歴史を戦前の文学部教育学教授法講座時代から、敗戦後の教育改革を経て設立までの制度的変遷を軸にたどります。さらに教育学部設立の基盤となった戦前・戦中を中心とした京大教育学研究の歩みについてもふれるほか、設立直後の学部や学生の様子も取り上げていきます。

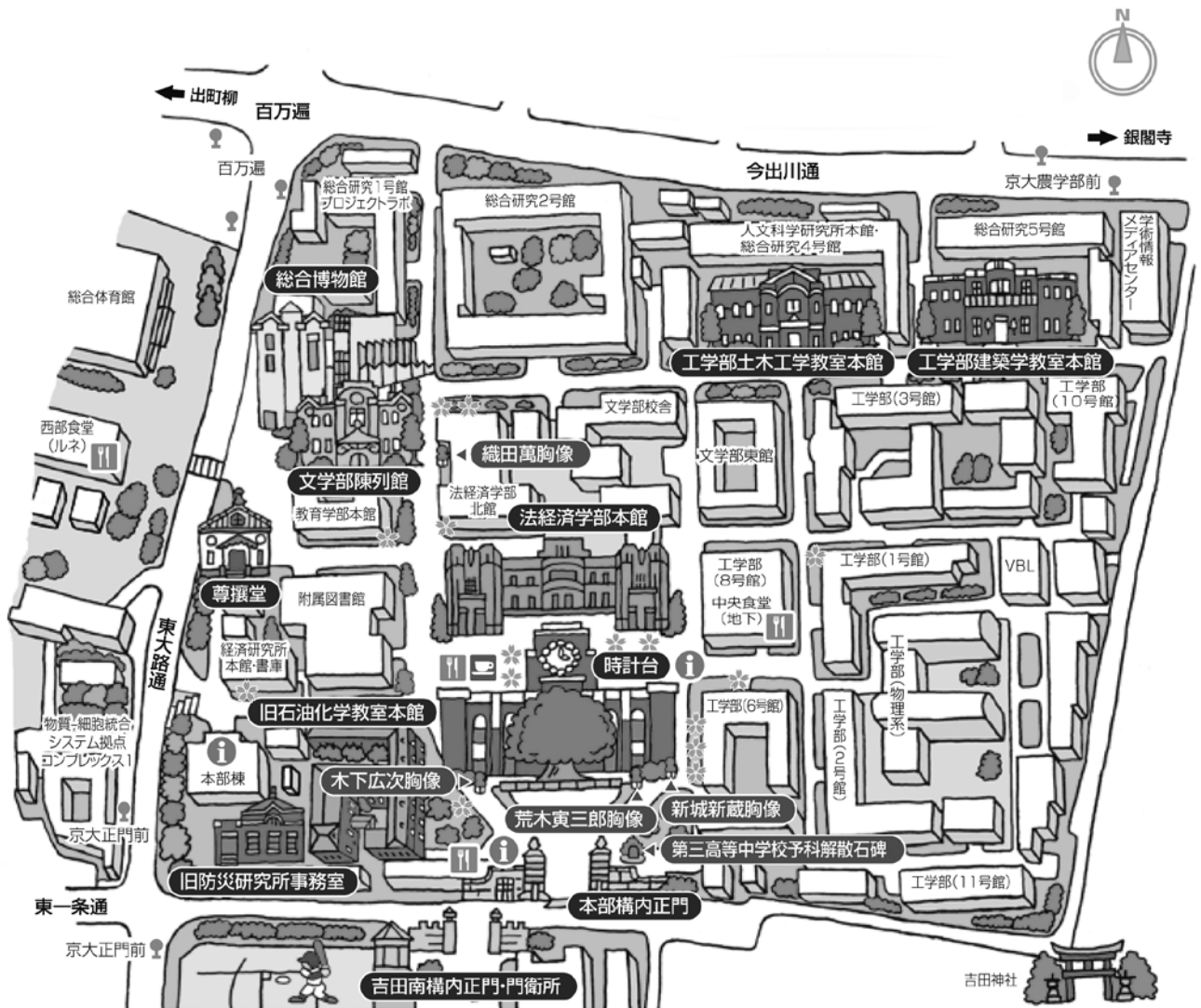
展示品は、京都大学大学文書館および教育学部所蔵の資料が中心で、今回の展示で初公開となるものも含まれています。展示を予定している主な資料は次の通りです。

- ・谷本富「京都帝国大学文科大学の組織の関する卑見」
- ・京大沢柳事件関係資料
- ・前田博宛谷本富・小西重直・木村素衛自筆書簡
- ・帝国大学総長会議における鳥養利三郎メモ
- ・新制大学設置認可申請書類
- ・教育学部整備委員会関係資料
- ・教育学部熊野校舍(写真)



※次頁に「京都大学歴史散策マップ」を掲載しました(総務部広報課にて作成のものを許諾を得て一部修正して掲載)。こちらもご活用ください。

京都大学歴史散策マップ



●時計台

1925(大正14)年竣工。総長室や大ホールが置かれ、大学のシンボリックな建物となった。1997年の創立百周年を記念して、2003年12月に「百周年時計台記念館」に改装された。かつて背面にあった法経第一教室は京大で最大の教室で、滝川事件の際の学生大会や、大学紛争時の回交の場としても使われた。なお、正面のクスノキは、1934年の室戸台風で折れた初代の後に植えられた二代目。

●総合博物館

2001(平成13)年にオープンした、日本最大規模の大学博物館。京大が開学以来100年以上にわたって収集してきた貴重な学術標本資料260万点を収蔵・展示。
 [休館日] 月・火曜日及び年末年始
 [観覧料] 一般400円、大・高校生300円、中・小学生200円(団体割引あり)

●文学部陳列館 (登録有形文化財)

1914(大正3)年竣工。歴史学・考古学・地理学・古美術関係など、文学部の貴重な収集資料を収蔵する建物としてつくられた。出入口のベディメント、上部の楕円形の小窓、棟上の小塔など、キャンパス内でも際だって華麗な建築といえる。

●尊攘堂 (登録有形文化財)

1903(明治36)年竣工。長州藩出身の政治家品川弥二郎の死後、京大に寄贈された吉田松陰の遺墨類を納めるために建てられた施設。

●旧防災研究所事務室

1916(大正5)年竣工。旧石油化学教室本館の二階部分と似た意匠の建築。現在は、留学生ラウンジとして使用している。

●織田萬 胸像

元法学部教授(1868~1945)。専門は行政法。国際的にも活躍し、国際司法裁判所の判事も務めた。

●木下広次 胸像

元総長(1851~1910)。第一高等学校校長、文部省専門学務局長を経て、初代総長となり京大の基礎を築いた。

●荒木寅三郎 胸像

元総長(1866~1942)。専門は医化学。1915(大正4)年総長に就任。在職14年は歴代総長で最長。

●新城新蔵 胸像

元総長(1873~1938)。専門は宇宙物理学。1929(昭和4)年総長に就任。不況や思想弾圧など、厳しい時代の大学の運営にあたった。

●工学部土木工学教室本館

1917(大正6)年竣工。大正期の京大の赤煉瓦建築の代表。白い花崗岩の装飾と大きな窓が特徴。

●工学部建築学教室本館

1922(大正11)年竣工。京大最初の鉄筋コンクリート造りで、瓦屋根を持たない建築。小豆色のタイル、正面の湾曲した壁面、頂上部の帯状の装飾などが特徴。

●法経済学部本館

1933(昭和8)年竣工。最初西面のみ竣工し、以後1953年にかけて順次増築された。入り口のまわりには特徴的な意匠が見られる。

●第三高等学校予科解散石碑

1894(明治27)年設置。当時この地にあった第三高等学校が大学への進学課程を一時廃止した際、生徒が他の学校に分属させられることになり、その記念につくられた。

●本部構内正門 (登録有形文化財)

1893(明治26)年竣工。竣工当時の門柱は、レンガと石を交互に積み上げていた。1979年に復元工事が行われた。

●総合人間学部正門・門衛所 (登録有形文化財)

1897(明治30)年竣工。もともと現在の本部キャンパスにあった第三高等学校(通称三高)が、京大の創立とともに南側に移転した際につくられた。三高は自由の学風で知られ、ノーベル賞受賞者をはじめ多くの著名人を輩出した。

●旧石油化学教室本館

1889(明治22)年竣工。内側の一階建ての部分は、第三高等学校が大阪から移転した際に物理学実験場として建てられたもので、京大キャンパスに現存する最も古い建物。ノーベル賞受賞者の湯川秀樹・朝永振一郎・福井謙一の各氏もここで研究した、別名「ノーベル賞の館」。

史料・日本近代と「弱者」 第1集

特別支援・特別ニーズ 教育の源流

〈鈴木治太郎の教育改革と適能教育論〉
高橋智・前田博行・石川衣紀編／解説
現代日本教育の「格差・貧困」「発達・
障害」を考える原典資料。障害児教育、
教員史や学校史研究など教育学全般に
必備。全9巻・別巻1／揃210,000円

賀川ハル史料集

三原容子編／解説 1888～1982年の
ハルの生涯を初公開の日記、手稿、雑
誌新聞論稿等で再現。近代女性運動史・
福祉・社会事業史・キリスト教運動史
の一次史料。全3巻／揃84,000円

教育新聞

梶村光郎監修／解説 志垣寛主宰の本
紙は教育新聞社より昭和20年から22年
まで通算71号発行された。戦後初期の
教育状況を克明に報道した貴重な新聞。
全1巻／27,300円

「満州」植民地 日本語教科書集成

竹中憲一編／解説 日本の植民地教育
の実態を示す根本資料〈日本語教科書・
教師用指導書〉を体系的に編纂した。
収録した教科書は全79冊。
全7巻／揃132,300円

「満州」植民地 中国人用教科書集成

竹中憲一編／解説 「満州」において
発行された教科別の日本語教科書・中
国語教科書・教師用指導書及び排日教
材等、全96冊を収録。〈中国語教科書に
は対訳を付す〉全8巻／揃155,400円

興亜教育

佐藤広美監修／解説 太平洋戦争下、
日本やアジア各地の教育事情を詳しく
報じた雑誌。日本植民地教育の絶頂期
の言説がわかる中核資料。今回は改題
誌『教育維新』を含む全39冊を完全収録。
全8巻・別冊1／揃147,000円

鑑賞文選・綴方讀本

中内敏夫監修 大正～昭和の児童文化・
社会に大きな影響を与えた生活綴方の
原点。創刊一年(大正14年)にして40万部
を記録、当時全国の子供達に最も読ま
れた日本最初の学年別児童雑誌。教育
史、社会史、児童文学史の根本資料。
全16巻・別巻1／揃417,900円

大村主計全集

大村益夫編／解説 「花かげ」に代表
される童謡詩人として著名な大村主計
(かずえ)の作品と諸資料を収録した。近
代日本の童謡史研究の貴重な資料。
全4巻／揃29,400円

戦前

教育科学運動史料

佐藤広美・高橋智編／解説 教育科学
研究会の機関誌『教育科学研究』と山
下徳治編集の『教材と児童学研究』を
収録。民間教育運動の課題、状況を知
る第一級資料。全2巻／揃33,600円

叢書 児童文化の歴史 I

児童文化の原像と芸術教育

加藤理編 (東京成徳大学教授) A5 判並製/本文 280 頁 定価 3,500 円 (税別)

児童文化の歴史と意義を検証する画期的な叢書 (全3巻) ついに刊行!

児童文化の誕生期である大正期から、昭和戦前、戦中、戦後、そして現代まで、各時代の児童文化を特徴づける重要文献を収録し (解題付き)、その歴史と変遷をたどる「叢書 児童文化の歴史」全3巻。第1巻は、大正期から昭和12年までの重要な児童文化論 (25 文献) を収録。誕生期・黎明期における「児童文化」の本質をさぐる。【第2巻、今秋刊行予定/第3巻、来春刊行予定】

日本教育関係法令体系

米田俊彦編著 (お茶の水大学教授) B5 判函入/本文 1064 頁 定価 50,000 円 (税別)

本書は内閣制度発足直後の 1886 (明治 18) 年から、第二次世界大戦後のいわゆる教育基本法制の成立にいたるまでの、教育関係法令を厳選し、分野別 (七分野) に体系化、明治から戦後までの教育法令を通覧できる。近代教育制度の全体像を提示した、初めての画期的な法令体系。

近代日本
教育関係
法令体系
米田俊彦

港の人

〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜 3-11-49 電話 0467-60-1374 fax0467-60-1375
http://www.minatonohito.jp info@minatonohito.jp

知と学びのヨーロッパ史

南川高志編著 ● 人文主義の歴史的發展 心と暮らしを豊かにする学問や知識とは何か。また、それはいかに学ばれるべきかを問う。 4725 円

コメニウス教育学の研究

井ノ口淳三著 すべての人にすべての事柄を教授する——コメニウスの壮大な構想の生成と展開過程を、著作に基づき体系的に考察する。 3990 円

J・H・カンペ教育思想の研究

山内規嗣著 ● ドイツ啓蒙主義における心の教育 子どもの「心」の教育論と、その形成過程を「心」を主題とした諸著作から検証する。 8400 円

近代フランスの歴史学と歴史家

渡辺和行著 ● クリオとナシヨナリズム フランス第三共和政前期に焦点を当てつつ、教育史や科学史の成果を取り入れ歴史を描いた知の社会史。 6300 円

夢幻のドイツ田園都市

山名 淳著 ● 教育共同体ヘレラウの挑戦 教育に関する歴史過程の解明を通して、20 世紀前半の近代の自己批判が抱え込んだアイロニーを別決する。 3990 円

エカテリーナの夢 ソフィアの旅

橋本伸也著 ● 帝制ロシア女子教育の社会史 巨大な女子教育システムを作り上げたその歩みを、女性専門職者の世界にまで視野を広げて描く。 3780 円

子どもたちのフロンティア

藤本茂生著 ● 独立建国期のアメリカ文化史 アメリカ建国当初を子どもおよび世代間関係を通じて描写する。 3675 円

斎藤喜博教育思想の研究

増田 翼著 斎藤の教育思想、およびその変遷過程と実践について、前半生を振り返りながら歴史的にたどり、その特質と意義を考察する。 7350 円

吉田松陰と松下村塾

ラジカリスト松陰の魅力。5040 円*在庫僅少

松下村塾の人びと

近世私塾の人間形成 6825 円

松村の塾の明治維新

近代日本を支えた人びと 7350 円

江戸の旅人 吉田松陰

遊歴の道を通る 5040 円

吉田松陰

身はたとひ武蔵の野辺に (ミネルヴァ日本評伝選) 2310 円

月性

人間ある処青山あり (ミネルヴァ日本評伝選) 2940 円

高杉晋作

動けば雷電のごとく (ミネルヴァ日本評伝選) 2940 円

広瀬淡窓と咸宜園

ことごとく皆宜し (ミネルヴァ日本評伝選) 4200 円

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 *表示価格税込 目録呈
TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589 www.minervashobo.co.jp/

ドイツ統一と 教授学の再編

東ドイツ教授学の歴史的評価

A5判 4,900円

吉田成章著

ドイツ統一によって教授学がどのように再編されるかを、東ドイツ教授学の歴史的評価を中心として検討した研究成果である。



中国高等教育の拡大と 大卒者就職難問題

背景の社会的学的検討

A5判 3,800円

李敏著

はたして中国の高等教育の大衆化は、大卒者の就職難を引き起こした「元凶」なのか。緻密なデータ分析に基づき、中国の高等教育及び大卒者の就職の実態を探る。



広島大学出版会

(〒739-8512) 東広島市鏡山1丁目2番2号
TEL(082)424-6226/FAX(082)424-6211
<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/press/>

好評発売中

われらユダヤ系ドイツ人

マイノリティから見たドイツ現代史 1893-1951

長田浩彰著/A5判/6,900円

方言の山野を歩く

藤原与一文庫目録

広島大学図書館編/B5判/1,400円

確率・統計の数学的基礎

藤越康祝・若木宏文・柳原宏和著/B5判/1,400円

広島大学の五十年

広島大学五十年史編集委員会・広島大学文書館編
/A5判/1,200円

近代日本社会史研究序説

布川弘著/B5判/2,146円

アッティカの碑文文化

政治・宗教・国家

前野弘志著/A5判/3,362円

フランス中世の文学

原野昇著/A5判/1,875円

【販売取扱店】

広島大学消費生活協同組合 TEL (082) 423-8285
紀伊國屋書店 広島店 TEL (082) 225-3232
ジュンク堂書店 広島店 TEL (082) 568-3000
Amazon.co.jp <http://www.amazon.co.jp/>

思想と教育の メディア史

近世日本の知の伝達

辻本雅史=著 ●A5判/336頁/4410円【新刊】

一七世紀日本の「メディア革命」は、思想と文化、さらに教育のあり方を大きく転換させた。本書は「メディア」という視点から江戸の「知」を見直し、近代が切り捨ててきた「学び」の原点を追究する。教育史像を全面的に書き換える試み。

広瀬淡窓の研究

田中加代=編 ●A5判/448頁/5913円

儒者・教育者であり、近代に大きな影響を及ぼした淡窓の総合的研究。徂徠学派につながると思われる淡窓の儒学と、彼の創設した私塾=咸宜園の理念との連関を追求する。

土田杏村の近代

山口和宏=著 ●A5判/352頁/5040円

1920年代に活躍した「在野の文明批評家」杏村。近代がはらむ問題を鋭くとらえた杏村の思想を検討し、近代日本のもつ思想的な奥行きと深さと可能性を探る。

近代報徳思想と日本社会

見城梯治=著 ●A5判/448頁/7560円

幕末期の農政家・二宮尊徳に由来する報徳思想がその個人から離れ、明治以後近代適合的に変容した経緯を門人の言行と社会状況の両面から分析する。

渋沢栄一と〈義利〉思想

近代東アジアの実業と教育

于 臣=著 ●46判/312頁/3990円

近代日中両国の代表的実業家、渋沢と張謇の思想を比較し近代化における儒学思想の可能性を考察する。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
☎ 03-3814-8515 FAX 03-3814-3264

ぺりかん社

URL <http://www.perikansha.co.jp/>
E-mail info@perikansha.co.jp

*表示価格は
税込です。

- アウグスティヌスと古代教養の終焉 H. I. マルー著／岩村清太訳 A5・800頁・9500円
- ヨーロッパ成立期の学校教育と教養 P. リシェ著／岩村清太訳 A5・608頁・9000円
- ヨーロッパ中世の自由学芸と教育 岩村清太著 A5・496頁・8500円
- 母が子に与うる遺訓の書 ドウオダの『手引書』 ドウオダ著／岩村清太訳 四六・296頁・3200円
- ルネサンスの教育 人間と学芸との革新 E. ガレン著／近藤恒一訳 A5・414頁・5600円
- 教育の社会史 ヨーロッパ中・近世 浅野啓子・佐久間弘展編著 菊・312頁・3200円
- ヴェルテンベルク敬虔主義の人間形成論 F. Ch. エーティンガーの思想世界 三輪貴美枝著 菊・336頁・6000円
- 〈大学〉再考 概念の受容と展開 別府昭郎編 A5・376頁・6500円
- 近代フランス大学人の誕生 大学人史断章 池端次郎著 A5・344頁・6500円
- 教育史に学ぶ イギリス教育改革からの提言 R. オルドリッチ著／山崎洋子・木村裕三監訳 A5・472頁・6500円
- 幸せのための教育 N. ノディングズ著／山崎洋子・菱刈晃夫監訳 四六・394頁・3400円
- 人文主義と国民形成 19世紀ドイツの古典教養 曾田長人著 A5・568頁・8000円



株式会社 **知泉書館**

〒113-0033 東京都文京区本郷1-13-2
Tel. 03 (3814) 6161 Fax. 03 (3814) 6166
<http://www.chisen.co.jp> (価格税別)

大竹美登利・日景弥生編
子どもと地域をつなぐ学び
— 家庭科の可能性 —

定価一五七五円

三石初雄・川手圭一編
高度実践型の教員養成へ

定価二六二五円

坂井俊樹・小幡史朗・重松克也・竹内裕一編
社会科教育の再構築をめざして
— 新しい市民教育の実践と学力 —

定価二九四〇円

東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター編
東アジアの教師はどう育つか
— 韓国・中国・台湾と日本の教育実習と教員研修 —

定価二二〇〇円

大森直樹編
子どもたちとの七万三千日
— 教師の生き方と学校の風景 —

定価一六八〇円

大石学著
江戸の教育力
— 近代日本の知的基盤 —

定価二二六〇円

矢ヶ崎典隆著
食と農のアメリカ地誌
— 地理教育を念頭においたアメリカ地誌の叙述 —

定価一七八五円

陣内靖彦著
東京師範学校生活史研究
— 東京における教員養成の通史を描き、
— 営まれてきた教員養成の実態を活写。 —

定価三九九〇円

GIP 東京学芸大学出版会

[TEL] 042-329-7797 [FAX] 042-329-7798
[HP] <http://www.u-gakugei.ac.jp/upress>

識字と読書

リテラシーの比較社会史
松塚俊三・八嶺友広編 四四一〇円
人類は口承文化と文字文化が豊かに織り成す世界を生み出してきた。「識字と読書」研究から、よりよき人生を求める人々の知のあり方を問う。

女性と高等教育

機会拡張と社会的相克
香川せつ子・河村貞枝編 四四一〇円
女性たちが知識と職業を求めて、自らの道を切り開いていった軌跡を比較社会史の視点から明らかにする。日、英、露、仏、スイスなど多領域を扱う。

帝国と学校

駒込武・橋本伸也編 四四一〇円
一九二〇世紀の帝国主義時代、米、英、日、ロシア、オーストリア・ハンガリー帝国の支配と、学校・教育制度の役割を比較の視点から鋭く追求。

国家、共同体、教師の戦略

教師の比較社会史
松塚俊三・安原義仁編 四二〇〇円
国家による国民教育の普及で、教える事と学ぶ事の間で亀裂が生じている。国家・共同体における教師の戦略と比較社会史から教育のあり方を問う。

実業世界の教育社会史

望田幸男・広田照幸編 四二〇〇円
日本や西洋諸国それぞれにローカルな特徴をもつ産業に直結した教育システムを比較社会史の観点から読み解く。

ネイションとナショナリズムの教育社会史

望田幸男・橋本伸也編 三九九〇円
近代教育とネイションの関係を縦糸に、近現代ドイツ、マイノリティ教育、歴史教育を横糸に、その主題を読み解く。

身体と医療の教育社会史

望田幸男・田村栄子著 三九九〇円
我々の身体は我々個人のものではなく、社会・国家によって強く統制されている。西洋とアジアの比較という視点を持ちつつ、身体と医療を語る。

ドイツ過去の克服と人間形成

対馬達雄編著 四七二五円
ドイツ人は、戦後いかにして精神的にナチズムから脱却したのか。家族、教育、宗教、記憶をキーワードに、戦後ドイツの人間形成に光をあてる。

家庭フォーラム

日本家庭教育学会編 五〇〇円
23号「卓育」で家族団欒/22号「家庭教育」とは何か/21号 おばあちゃん、の知恵袋/家庭の中の老人力/20号 おうちで食べよー家庭で学ぶ食育

〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前
TEL 075-706-8818 FAX 075-706-8878

昭和堂 図書出版

郵便振替 01060-5-9347 *定価税込
http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/

戦後公教育の成立

京都における中等教育 《戦後教育の象徴として語られる
京都・中等教育の実像を明らかにする》
小山静子・菅井鳳展・山口和宏編 4200円

教育と歴史、あるいはその認識と記述

《発掘された史料や事実を再解釈・再構成し、新たな教育史認識を創造す》
片桐芳雄 3990円

〈お受験〉の社会史

《お受験 問題の歴史的原点》
◎都市中間層と私立小学校
小針 誠 3990円

教育玩具の近代

◎教育対象としての子どもの誕生
是澤博昭 《教育玩具の誕生と普及から幼児教育の生成過程を浮き彫る》 2830円

近代公教育の成立と社会構造

◎比較社会的視点からの考察 《大衆教育の成立を考察》
清川郁子 8400円

植民地期朝鮮の教育とジェンダー

◎就学・不就学をめぐる権力関係 《第1回女性学賞受賞》
金 富子 4200円

イギリス社会学の勃興と凋落

◎科学と文学のはざま 《英国百年の社会学全史》
A.H.ハルゼー著/潮木守一訳 3780円

女性とたばこの文化誌

◎エンター規範と象徴 《エンター構造分析から見る近代社会のたばこの諸相》
館かおる編 6090円

好評既刊

大田直子

現代イギリス「品質保証国家」の教育改革

《80年代以降の英国教育政策を精緻に分析》 2520円
マイケル・アップル著/大田直子訳
右派の正しい教育【第二版】 4830円
◎市場、水準、神、そして不平等

藤田英典

家族とジェンダー

◎教育と社会の構成原理 2730円

佐藤学

カリキュラムの批評

◎公共性の再構築へ 5040円

教師というアポリア

◎反省的実践へ 4200円

学びの快楽

◎ダイアログへ 5250円

広田照幸

格差・秩序不安と教育

3780円

《愛国心》のゆくえ

◎教育基本法改正という問題 2520円

陸軍将校の教育社会史

◎立身出世と天皇制 5250円

矢野智司+今井康雄+秋田喜代美+佐藤学+広田照幸編

変貌する教育学

2940円
教育学の探究に挑む研究者達の渾身の論文集

藤田英典+黒崎勲+片桐芳雄+佐藤学編

教育学年報

◎子ども問題 5250円
◎大卒改革 5460円/◎教育学の最前線 5775円



世織書房

横浜市西区戸部町7-240 文教室ビル3階 TEL045-317-3176 FAX045-319-0644

http://homepage3.nifty.com/seori/

(価格税込)

新刊

最新特別活動の研究

関川悦雄著

新訂

わかりやすく学ぶ教育制度

―課題と討論による授業の展開―
北野秋男 編 金泰勲・矢治夕起・谷本宗生 著

教育思想のルーツを求めて

―近代教育論の展開と課題―
関川悦雄・北野秋男 著

改訂 新版 道徳教育

窪田祥宏 編 河原・秋元・藤原・北野・大場 著

新刊 教員養成のしくみとインターンシップ

―教員の実践的指導力形成のために―
永塚史孝 著

子どもの発達支援

―障害児教育のフィールドワーク―
山口勝弘・古屋義博 編

こどもの運動あそび

―幼稚園・保育所での実践指導―
橋本妙子・堀内弓子 著

◇珠玉の2著 教育・心理専攻学生必携!

心理学の基礎英単語帳

―心理学のための英語学習の手引―
羽生和紀 著

必修1000心理学基本用語集

必修心理学用語編集グループ 編

525円

730円

1,870円

1,876円

1,680円

2,016円

1,830円

2,100円

2,100円

啓明出版

◆価格は定価（5%税込）です。
ご注文は最寄りの書店、購買部または小社にお願いします。
営業部 〒182-0004 東京都調布市入間町1-13-1

Tel 03-3307-2669
Fax 03-3307-2676
振替 00160-3-127212

知の伝達メディアの歴史研究

辻本雅史編 教育史像の再構築
「教育」を「知の伝達」ととらえ直し、その伝達のための媒体を「メディア」と規定することで、学校を中心とした教育史像ではなく、学校を含みながらも、学校を越えたところでなされる人間形成の営みを、全体としてとらえなおす。
▶ A 5判・300頁/定価5,985円

William Smith Clarkの教育思想の研究

小枝弘和著 札幌農学校の自由教育の系譜
アメリカに存在するクラーク関連資料や、手紙や草稿類などの活性化されていない資料をも十分に活用し、幼少期にさかのぼって彼が過ごしてきた環境をできるだけ明らかにすることで、その教育思想や実践の特質の主要因を究明。
▶ A 5判・380頁/定価3,150円

同志社女学校史の研究

宮澤正典著
現在の同志社女子大学などの前身である「同志社女学校」。その1877(明治10)年創設から1945(昭和20)年までについて、新島襄と女子教育、同志社女学校と朝鮮、昭和戦時下の同志社女子部など、個別詳細に論じる。
▶ A 5判・374頁/定価2,940円

三高の見果てぬ夢

敵肇著 中等・高等教育成立過程と折田彦市
京都大学大学文書館所蔵「第三高等学校関係資料」等を駆使し、当時の「中学校」の教育機能を考察。その前身校以来、長く三高校長職にあった折田彦市に注目することで、高等学校校がいかなる理由で設けられたのかを解明。
▶ A 5判・352頁/定価7,875円

韓国「併合」前後の教育政策と日本

本間千景著 佛教大学研究叢書⑧
本書は第二次日韓協約から第一次朝鮮教育令発布後、すなわち韓国「併合」前後の期間に着目し、当該期の修身教科書への影響や教員の養成・日本人教員の配置など、多彩な史料に基づき現地における学校教育を明らかにする。
▶ A 5判・300頁/定価5,880円

明治期における不敬事件の研究

小股憲明著
体系的な研究のなかった不敬事件を、明治期について網羅。豊富な事例を整理・検討することで明治国家の特質を考察し、天皇制と教育の関係、ひいては天皇制と近代日本および国民の関係を解明。228事例の概要・参考文献を併載。
▶ B 5判・576頁/定価13,650円

西村茂樹研究

真辺将之著 明治啓蒙思想と国民道徳論
明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。
▶ A 5判・488頁/定価8,190円

近代医療のあけぼの

青柳精一著 幕末・明治の医事制度
長年医療ジャーナリズムに従事してきた著者が、遣外使節団の病院視察から、ドイツ医学の導入および医学校の創設、看護師・女医の誕生、医師法の制定と、よりよい医療を求めた先達のあゆみを、膨大な史料をもとにたどる。
▶ A 5判・576頁/定価4,935円

思文閣出版

〒605-0089京都市東山区元町355
http://www.shibunkaku.co.jp/

☎075(751)1781 呈内容見本
F 075(752)0723 (価格は税5%込)

【プリミヒ・コレクション】

臨床教育と語り

——二宮尊徳の実践から——
中桐万里子 著
A5判・3780円

教育・子育ては人間相手の営みであり、マニュアルによる対応はむずかしい。農民とともに生きた実践家二宮尊徳を題材に、日常生活を再発見する手がかりを求める新しい臨床教育学を提唱する。

京都大学講義

「偏見・差別・人権」を問い直す

大学で人権を語るのほどか胡散臭い。話す前からオチが見える。でも人権を切実に必要としている人々がいるのも確かだ。ではどうする？無意識の恐れに満ちた社会で希望を語る、型破りの人権本。

竹本修三・駒込武・伊藤公雄・友澤悠季・野田公夫
前平泰志・脇中洋著
A5判・2310円

【西洋古典叢書】

ニコマコス倫理学

人はいかに生きるべきかを論じた代表的古典

キュロスの教育

理想的君主をテーマに教育を論じた名著

弁論家の教育

人間形成として弁論教育を説いた古典

アリストテレス 著 朴一功 訳
613頁・4935円
クセノポン 著 松本仁助 訳
450頁・3780円
クインティリアヌス 著 森谷宇一他 訳
A5判 (1) 2940円 (2) 3675円

京都大学学術出版会

〒606-8315 京都市左京区吉田69 京都大学吉田南構内(価格は税込)
http://www.kyoto-up.or.jp/ TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190

◇石岡 学—— A5判上製264頁 定価3675円 ISBN978-4-326-25064-4

「教育」としての職業指導の成立

戦前日本の学校と移行問題
生徒への職業指導を学校が行うようになったのは、いつの時期、いかなる論理によってだったのか。史料を紐解き、その過程を分析する。

◇渡辺哲男—— A5判上製320頁 定価5145円 ISBN978-4-326-25063-6

「国語」教育の思想

声と文字の諸相
均質な音声を持つ規範としての日本語の形成期である、1930―50年代の「国語」教育の歴史を分析し、言語と教育の根本的問題をとりえ直す。

◇小山静子—— 四六判上製288頁 定価3150円 ISBN978-4-326-65341-6

戦後教育のジェンダー秩序

戦後日本の教育制度には、いかなるジェンダー構造が存在したのか。史料を紐解き、男女共学と女子高等教育を巡る議論と構図の変化を解析。戦後教育史をジェンダーの視点から読みかえる。

◇今田絵里香—— A5判上製272頁 定価3465円 ISBN978-4-326-64878-8

「少女」の社会史

双書ジェンダー分析17
子どもでも少年でもない「少女」は近代に生み出された。「少女」創出期から敗戦までの日本における「少女」イメージの変遷を、少女雑誌を題材に分析する。

◇森田尚人・森田伸子・今井康雄 編著

A5判上製304頁 定価3675円 ISBN978-4-326-25047-9

教育と政治 戦後教育史を読みなおす

教育が保革対立の主戦場となった日本の戦後の枠組の中で、ミクロで遍在する権力の一形態としての教育活動という視点から教育と政治の関連をとりえ、戦後教育史を通観する。

◇柴山英樹—— A5判上製312頁 予価4200円 ※近刊

シユタイナーの教育思想

その人間観と芸術論
独自の人間観が形成された背景を読み解きつつ、同時代の教育思想家たちとの異同を分析する。シユタイナーを思想的文脈の中に位置づけ、相対化する試み。



勁草書房

http://www.keisoshobo.co.jp

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

*表示価格には消費税が含まれております。

近代教育制度の確立しつつある日本において、
児童少年たちの歩むべき道を提示する！

日本之少年 復刻版

〔全2回配本〕(全16巻)

上田信道 監修

A5判上製・総12174頁 各回揃189000円(分売不可)

家庭における「学芸・修身・立志・修行」の奨励、作文・論文の積極的募集・掲載による文才少年の育成、父母に対する家庭教育法の示唆など、バラエティーに富む紙面づくりに読者の支持を得た、明治中期の児童総合雑誌『日本之少年』全141号分をはじめ復刻。

アカデミズムが封印した、抑圧と侵略の時代の歴史

知識人とファシズム

近衛新体制と昭和研究会

マイルズ・フレッチャー 著 竹内洋／井上義和 訳

四六判上製・364頁 3990円

1933年、近衛文磨のブレインたることを目指して設立された国策研究機関「昭和研究会」。蠟山正道、三木清、笠信太郎ら一級の知識人たちの躍動から、昭和戦前期における知と権力の宿命的関係が浮き彫りになる。

江戸時代、民衆の読み書き能力は本当に高かったのか

日本人のリテラシー

1600～1900年

リチャード・ルビンジャー 著 川村肇 訳

A5判上製・324頁 5040円

柏書房

〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14
TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255 <http://www.kashiwashobo.co.jp/>

【価格税込】

川島書店



〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-15-17(税込)

Tel 03-3365-0141(代) Fax 03-3365-1101 <http://kawashima-pb.kazekusa.co.jp/>

山峡(やまかい)の学校史

花井信著 戦中下に生きた人たちの同時代教育史―自分探しの教育史研究と訣別する、団塊世代の著者による新しい地域教育史の試み。ボレミークな、知的刺激に溢れた教育史研究を読者に提供する。

4200円

学校と学区の地域教育史

花井信・三上和夫編著

明治中期の信州長野における小学校教育の実態を詳細に描き出す。

3150円

地域の教育の歴史

千葉昌弘・梅村佳代編

「地域」の歴史的解明をととして日本教育史像の新たな構築を図る

3150円

近代日本の教育実践

花井信著

自らの教育実践をもとにわが国近代教育実践史への道筋を指し示す

1785円

子どもの〈暮らし〉の社会史

高橋勝・下山田裕彦編著

戦後50年における子どもの暮らしの著しい変容過程を浮彫りにする

2625円

地面のかさぶた

堀徹造著(解説・松木健一)

ゴミ問題を題材にしたカリタス小「総合学習」の貴重な実践記録。

2310円

続・学童保育実践の記

及川房子著(解説・堀智晴)

障害のある子を学童に受け入れ共に歩む姿が生きいきと描かれる。

1995円

地域教育論

遠藤克弥編著

地域教育論によって、生涯学習思考から脱皮し新たな社会教育へ。

1890円

論文の手法

花井信著

日本教育史研究法・序説

1470円

甦る教師のために

鈴木正幸・加藤幸次・辻村哲夫他編著

初学者向けに、著者みずからの研究手法を公開した論文指南の書。

近刊

教師の自己変革を願う、教員免許更新講習・通信教育テキスト。

◆アメリカにおける学校改革の第一人者の代表作

学校を変ええる力

—イースト・ハーレムの小さな挑戦—

デボラ・マイヤー／北田佳子訳／解説 佐藤 学（東京大学大学院教授）
学校は子どもたちに何ができるのか。アメリカの公教育を変えた教育者の代表作の紹介。
四六判 定価2730円

◆学問の街・京都における三大学の来歴と未来

京都三大学

京大・同志社・立命館

—東大・早慶への対抗—

橋木俊詔
学問の町・京都において中心的な役割を果たしてきた三大学の来歴と将来像を豊富なエピソードを交えて示す。
四六判 定価2730円



◆政治思想と文学批評の交点から立ち上がる鮮烈な思考

帝国日本の閥

—生と死のはざまに見る—

金 杭
裸の個人たちが「国家の民」に生成する力学とは？ 丸山真男、関東大震災、小林秀雄から考える近代日本。
四六判 定価3360円

◆日本型文化帝国主義の構想と自壊のプロセス

植民地帝国

日本の文化統合



駒込 武
日本の文化支配はなぜ自壊したのか？ 台湾・朝鮮・「満洲国」・中国での教育・言語政策と皇民化の実態を跡づける。
A5判 定価8610円

岩波書店



〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
http://www.iwanami.co.jp/

〈定価は消費税5%込みです〉

2011年8月刊行

宮澤 康人

ISBN978-4-7620-2203-6 予価2415円 約2500頁

〈教育関係〉の歴史人類学

—タテ・ヨコ・ナナメの世代間文化の変容—

〈教育関係〉の人類史における変遷を辿り、その新たなイメージを描き出す。ヒトの社会的基盤を重視し、原始から現代まで人間社会にあまねく存在する世代間関係の文化の在り方を、身体・エロス性、死者・生者関係、ホモ・エドゥカンス、教育的無意識など新しい概念を含む多様な観点から考察、教育への別様の発想を刺激する物語。

- 1 〈教育関係〉の入り口
- 2 〈教育関係〉と子供が育つ
- 3 タテ・ヨコ・ナナメの世代関係システム
- 4 共同体の文化継承と〈教育関係〉
- 5 死者・生者関係と教養の共同体
- 6 文化継承を媒介するメディアの変容
- 7 〈教師〉というヘルツォグの誕生と死と転生
- 8 共同幻想の預言者＝〈教・師〉
- 9 教育関係のエロス性と身体性
- 10 自然の開発と人間の発達
- 11 ホモ・ファーベルとホモ・エドゥカンス
- 12 教育関係の誤認とホモ・エドゥカンスの（教育的無意識）隠れた／三者の／無意識の／暴力的関係

古沢常雄・米田俊彦 共編

ISBN978-4-7620-1653-0

西洋および日本教育史を社会状況・教育課題の変遷に照らしつつ丁寧に概説。教師教育テキストシリーズ③。
2310円 242頁

白井嘉一

ISBN978-4-7620-2063-6

国立大学「教員養成学部」における（目的）養成の論理と実践をまとめ、その位置づけを改めて提示。
2310円 192頁

小林茂子

ISBN978-4-7620-1985-2

調査活動・文献発掘の蓄積を通じ、沖繩・フィリピン移民の生活と自己意識形成に教育という側面から接近した意欲作。
6825円 384頁

井上えり子

ISBN978-4-7620-2007-0

「文検」家事科合格者の実態調査により、昭和戦前期において独学で学んだ女性たちの学習要求の諸相を明らかにする。
7350円 368頁

菅原亮芳 編

ISBN978-4-7620-1780-0

維新以後、人々はなぜ受験・進学へ誘引されていったのか、膨大な雑誌メディア、進学案内書等の文献の解明により迫る。
4725円 392頁

小峰総一郎

ISBN978-4-7620-1673-8

ワイマール時代の独教育長ニユタールの教育政策を軸に、「国民国家」における「少数者」の教育権保障を史実より検証。
3360円 256頁

寺崎昌男・「文検」研究会編

ISBN4-7620-1192-4

戦前期日本の最大規模の教員資格試験、「文部省師範学校中学校高等女学校教員検定試験」の具体的試験科目問題を解析。
6300円 560頁

池田稔記念論集編集委員会 編

ISBN978-4-7620-2127-5

教育史、教育思想・哲学、教育文化、教育と実践、子どもと保育等多岐にわたる分野から総合科学としての教育学を探索。
2940円 244頁

*価格は定価表示
〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

教育の文化史

全4巻

小野雅章・寺崎昌男
逸見勝亮・宮澤康人 編

A5判・上製

佐藤秀夫著
教育は、人間の社会・文化の持続と展開に関わる実に応答する諸機能と一体化している。「まず結論ありき」の歴史把握を排する著者は、史実の丹念な再発掘・再吟味を通じてよき伝統の継承と新たな教育像の創出を試みる。

1	学校の構造	(第二刷出来)	386頁・8190円
2	学校の文化	(第二刷出来)	316頁・7980円
3	史実の検証		490頁・8610円
4	現代の視座		458頁・8400円

我等の歌―崇仁歴史年表

竹口 等著

A5版・並製・442頁・6300円

京都駅ちかくにあつて同和教育の源流とも言われるようになった崇仁小学校は、二〇一〇年三月、新たな学校統合にむけて一三六年の歴史を閉じた。崇仁地区に生まれ育った著者が、室町時代から現代までの歴史を紐解き、この地に展開された人々の生活の諸相を年表風に記録。

- 1 崇仁(六条村)の成立と移転・拡大
- 2 明治期の崇仁(柳原町)
- 3 大正期の崇仁(東七条町)―水平社創立と伊東茂光校長
- 4 敗戦までの昭和前期の崇仁―生活擁護運動と「崇仁教育」
- 5 戦後の崇仁―「オール・ロマン」糾弾闘争
- 6 同和对策審議会「答申」以降の崇仁―運動体の対立と事業の停滞
- 7 崇仁の新しいまちづくり・人づくり―祭りの復活と大同団結

むかし学校は豊かだった

教育の境界研究会編

46判・並製・240頁・2205円

- 1 学校に人は住まっていたのか
 - 2 豊かだった……か?
 - 3 教育? 改革?
- ◆モノの星座と政治の発見

学校の境界

中島勝住編著

46判・並製・296頁・2478円

坊っちゃんの悲劇性 消えゆく肖像 品行する教員 拡張する学校/郊外学舎 学区界の変容 学校と建築の出会い 学校化する予備校の戦略 子どもは人質か 学校のウチ/ソト考 映画/学校物語 反差別へのスタンス ……

京都市上京区上木ノ下町 73-9
〒602-0017 郵便振替 01040-0-3838

阿 吽 社

TEL075-414-8951 FAX075-414-8952
※価格は税込です

解釈型歴史学習のすすめ

土屋武志 著

対話を重視する社会科学歴史

歴史を解釈する権利を保障する民主的な「解釈型歴史学習」とは何か。自らの「解釈」を改善し、他人と共有するための「対話」を通して考える。異なる立場の考え方を相対化して問題を解決する歴史学習。国籍や民族をこえて多様な「立場」の人々を包摂する民主的な社会科学歴史を探索する。

定価二〇〇円

新社会科学教育の世界

森茂岳雄・大友秀明・桐谷正信 編著

歴史・理論・実践

本書は、これから社会科学教師になろうとする人を対象に社会科学教師としてのプロフェッション(知識・技能)を育成することを目的として執筆された。社会科学の本質や意義、社会科学の授業構成、教材研究、学習指導案の作成、学習評価の工夫など授業づくりの実践を体得することをねらいとしている。

定価二〇〇円

明治の教育史を散策する

神辺靖光 著

「教育史の周辺談話」学制の布告書と章程を読む」「永山県令の巡視に添って」「就学年齢と夜学校」「地芝居、手踊りは目の敵」「学区についての二三話」など、明治期の教育史にかんするこぼれ話を多数収録。

定価二九四〇円

近代教育の展開と地域社会

四方一洙 著

静岡県に焦点をあて、明治初期の教員養成の成立過程、沼津地域の中高等教育の成立過程とその性格、昭和初期の中等学校の進学準備教育と勤労教育、戦時下の勤労青年の教育実態など、地域における教育の問題と課題を明らかにする。

定価五二五〇円

新版社会・地歴・公民の教育

大森 正・石渡延男 編著

定価二一〇〇円

楽しく考える社会科の授業を行うための指導計画と方法について解説する。

改訂教育の課程・方法・評価

山崎準一 著

定価一九九五円

教職を目指す人を対象に教育の方法と技術、教職課程について解説する。

梓 出 版 社
TEL/FAX 047-344-8118

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 7-65
http://www.azusa-syuppan.co.jp/

アジアにおける日本の軍・学校・宗教関係資料

The compiled collection on Japanese army, education and religion in Asia

編集・解題 梶木瑞生 すいせん 白柳弘幸/大東 仁/辻田文雄 (50音順 敬称略)

近年の資料調査から、日本の宗教教団の多くが外地で学校を運営してきたことが分かっている。それらには実に多様な教育施設があり、多くは戦時の宣撫工作の一環として展開されていた。また歴史的に見ると、日露戦争の占領統治を行った軍政署も多くの学校を作っており、その視野には“軍と教育”があった。このように、布教・学校・軍は互いに密接な係わりがあったが、その事実はこれまでの研究では見過されてきた。本企画はこの問題を視座に捉え、その関係資料、特に基礎的な一次史料を世に公表しようとするものである。

- 新刊** 第1期 満洲帝国学事要覧 全4巻 揃定価 105,000円
- 次刊** 第2期 満洲国留日学生録 全6巻 揃定価 157,500円
- 第3期 日本留学中国人名簿関係資料 全7巻 揃定価 183,750円
- 第4期 日本佛教団(含基督教)の宣撫工作と大陸 揃定価 105,000円
—日本語学校—

以降続刊



龍溪書舎

〒179-0085 東京・練馬区早宮2-2-17
TEL 03(5920)5222 FAX 03(5920)5227

(定価は税込)

<http://www.ryuukei.com>

阿部 洋編著

韓国の戦後教育改革

定価 三、六七五円

阿部 洋著

中国の近代教育と明治日本

定価 三、一五〇円

佐藤由美著

植民地教育政策の研究

定価 九、四五〇円

幣原 坦著 [復刻版]

朝鮮教育論

定価 七、三五〇円

大日本軍政部・爪哇軍政監部編

日本語教科書(ジャワ)

定価 二六、二五〇円

明石陽至・宮脇弘幸解題

日本語教科書 全八巻

揃定価 一七〇、一〇〇円

佐藤尚子著・阿部 洋編

中国ミッションスクールの研究

定価 八、四〇〇円

近現代アジア教育史研究会(代表 阿部 洋)編

近代日本のアジア教育認識・目録篇

定価 九、四五〇円

近現代アジア教育史研究会(代表 稲葉継雄)

近代日本のアジア教育認識・資料篇(韓国)の部

定価 一五、七五〇円

近現代アジア教育史研究会(代表 蔭山雅博)

近代日本のアジア教育認識・資料篇(中国)の部

定価 二六、二五〇円

近現代アジア教育史研究会(代表 弘谷多喜夫)

近代日本のアジア教育認識・資料篇(台湾)の部

定価 二二、〇五〇円

齋藤秋男・淑子著

大正の文学少年懐古

定価 二、一〇〇円

内山秀夫・香内信子共著

與謝野晶子評論著作集

定価 一〇、五〇〇円

成城学園教育研究所編

教育問題研究附巻

定価 八、四〇〇円

解題・総目次・執筆者索引

解題・総目次・著作年表・索引篇



龍溪書舎

〒179-0085 東京都練馬区早宮2-2-17 振替00130-1-76123
電話 03(5920)5222 FAX 03(5920)5227
WEB:www.ryuukei.com Mail:info@ryuukei.com (定価は税込)

現代大学改革と歴史の視座

大学は歴史の思想で変わる―FD・評価・私学

寺崎昌男著

四六・上製・二九四〇円

大学自らの総合力―理念とFD

寺崎昌男著

四六・上製・二〇〇〇円

大学教育の可能性―教養教育・評価・実践

寺崎昌男著

四六・上製・二六二五円

大学教育の創造―歴史・システム・カリキュラム

寺崎昌男著

四六・上製・二六二五円

大学の自己変革とオートノミー―点検から創造へ

寺崎昌男著

四六・上製・二六二五円

教育大転換期を見通す鋭利な視線

フンボルト理念の終焉?―現代大学の新次元

潮木守一著

四六・上製・二六二五円

いくさの響きを聞きながら―横須賀そしてベルリン

潮木守一著

四六・上製・二五二〇円

転換期を読み解く―潮木守一時評・書評集

潮木守一著

四六・上製・二七三〇円

国立大学法人をめぐる

国立大学法人の形成

大崎仁著

A5・上製・予三三六〇円

国立大学・法人化の行方―自立と格差のはざま

天野郁夫著

A5・上製・三七八〇円

大学史作成の手引き

大学史をつくる―大学史編纂必携

寺崎昌男・別府昭郎・中野実編

A5・上製・四五六頁・五二五〇円

日本の高等教育・歴史の諸断面

近代日本海外留学の目的変容

辻直人著

A5・上製・四三二頁・五〇四〇円

戦後日本産業界の大学教育要求

―経済団体の教育言説と現代の教養論

飯吉弘子著

A5・上製・四六四頁・五六七〇円

日本の教育・維新・戦前戦中・戦後

近代日本黎明期における「就学告諭」の研究

荒井明夫編

A5・上製・五八四頁・七一四〇円

ミッシェン・スクールと戦争―立教学院の老川慶喜・前田一男編著

山口周三著

A5・上製・五二〇頁・六〇九〇円

資料で読み解く南原繁と戦後教育改革

山口周三著

A5・上製・二九四〇円

新版昭和教育史―天皇制と教育の史的展開

久保義三著

A5・上製・二二三二頁・一八九〇〇円

各国教育・史的展開とトピック

大学教育とジェンダー

―ジェンダーはアメリカの大学をどう変革したか

ホーン川嶋瑠子著

A5・上製・三七八〇円

アメリカの大学基準成立史研究

―「アクレディテーション」の原点と展開

前田早苗著

A5・上製・三九九〇円

ロッキーマウンテンの麓の学校から

―第二次大戦中の日系カナダ人収容所の学校教育

F・モリツグ編著

訳者代表小川洋・溝口智恵子

A5・上製・三九九〇円

中国教育の文化的基盤

顧明遠著

大塚豊監訳

A5・並製・三〇四五円

中国大学入試研究―変貌する国家の人材選抜

大塚豊著

A5・上製・三七八〇円

韓国大学改革のダイナミズム

―ワールドクラス(WCU)への挑戦

馬越徹著

四六・上製・二八三五円

西欧保育・幼児教育史

フランス保育制度史研究

藤井穂高著

A5・上製・四七二頁・五八八〇円

西洋近代幼児教育思想史―コレニウスから

乙訓稔著

四六・上製・二四一五円

西洋現代幼児教育思想史―デュイイから

乙訓稔著

四六・上製・二四一五円

今号より広く市販

大学史研究24号 特集 世界の大学改革

―伝統と革新―

A5・並製・二二〇〇円

近代教育学 理論・思想家

近代教育学の成立

森川直著

A5・上製・三九九〇円

地上の迷宮と心の楽園―コレニウス

―セレクション

J・A・コレニウス著

藤田輝夫訳

A5・上製・三七八〇円

マリアモンテッソーリ―その言葉と写真(全訂版)

―が証す教育者像

H・ハイラント著

平野智美・井出麻里子訳

四六・上製・二二〇〇円

フェルディナン・ヒュイッソンの教育思想

―第三共和政初期教育改革史研究の一環として

尾上雅信著

A5・上製・三九九〇円

シュランガー教育の宗教思想的研究

山邊光宏著

A5・上製・五四六〇円

陶行知の芸術教育論―生活教育と

李 燕著

A5・上製・三七八〇円

アメリカ進歩主義教育をめぐる概念 歴史・葛藤

社会性概念の構築―アメリカ進歩主義

田中智志著

A5・上製・三九九〇円

人格形成概念の誕生―近代アメリカ

田中智志著

A5・上製・三七八〇円

アメリカ進歩主義教授理論の形成過程

―教育における個性尊重は何を意味してきたか

宮本健市郎著

A5・上製・四三二頁・七三五〇円

教育による社会的正義の実現

―アメリカの挑戦(一九四五―一九八〇)

D・ラウイッチ著

末藤美津子訳

A5・上製・五四四頁・五八八〇円

学校改革抗争の100年―20世紀アメ

リカ教育史

D・ラウイッチ著

末藤美津子・宮本健市郎・佐藤隆之訳

A5・上製・六六四頁・六七二〇円

近代日本地方教育行政制度の形成過程 —教育制度と地方制度の構造的連関—

河田 敦子著 10500円
近代日本の権力構造を教育行政の観点から解明。1880年代の制度形成過程について内務卿山県有朋の政策および町村の実態等の多様な視点から詳細に検討している。

現代米国の教員団体と教育労働法制改革

高橋 哲著 8400円
労働法をモデルとして形成された米国の教員法制。そこで展開された教員団体の運動を手がかりに、教師の労働基本権と専門職性をめぐる問題を検討する。

シュランガーの教員養成論と教師教育の課題

西村 正登著 3990円
シュランガーの『教員養成論』はドイツの教員養成に賛否両論を含む大きな波紋を投じた。本書は彼の教員養成論を現代の教師教育の課題と関連させながら論じた。

近代教育黎明期における健康教育の研究

田口喜久恵著 12600円
保健教育の創始といえる、1872年「学制」の「養生法」設置の背景と根拠について検証し、近代学校草創期の子どもの〈身体・健康〉教育全容の解明に迫る。

デューイの〈教材〉開発論とその思想

山上 裕子著 7875円
デューイの教材論を、彼が生涯にわたって模索し続けた知の論理から解釈し、〈教材〉開発論として再構成。今日の教育実践に応用可能な、教育的意味と観点を探る。

開かれた科学的社会認識形成をめざす歴史教育内容編成論の研究

山田 秀和著 8925円
アメリカで開発された革新的な歴史カリキュラムを分析し、「開かれた科学的社会認識形成」をめざす歴史教育内容編成の理論と方法を体系的に究明する。

戦前日本における歴史教育内容編成に関する史的的研究

角田 将士著 8400円
戦前日本において多様に展開していた中学校用の自国史、外国史教科書の分析・検討を通して、二つの歴史の教授が担った教育的役割とその史的展開を解明した新著。

話す・聞く能力育成に関する国語科学習指導の研究

若木 常佳著 10500円
本書は、話し合う力の育成を「発言の理解・発言内容の構築・表現の工夫」の鍛錬にあるとし、瞬間的なアタマの中の働きに対する指導のあり方を記したものである。

話しことば教育の実践に関する研究 —大正期から昭和30年代の実践事例を中心に—

有働 玲子著 18375円
大正期より昭和30年代における先駆的な「話しことば教育」実践の事例研究。それらの様相を明らかにし、特質を具体的に分析した。未発表の第一次資料を多数収録。

占領下沖縄・奄美国語教科書研究

吉田 裕久著 5775円
戦後初期の占領下における沖縄(本島・八重山・宮古島)・奄美で行われた教育関係者の真摯で、懸命な生き様を、教育・教科書への取り組みを通して明らかにした。

戦後新教育における経験主義国語教育の研究

坂口 京子著 10500円
戦後新教育における経験主義国語教育の摂取と啓蒙の実態、実践的理解の過程を取り上げて分析し、言語の教育の構造化と独自性の定位を観点として考察する。

ドイツ田園教育舎研究 —「田園」型寄宿制学校の秩序形成—

山名 淳著 14700円
世紀転換期の「新教育」を代表する寄宿制学校を題材にして、近代教育の捉え直しを試みる。「自己活動」を重視する学校の秩序はどのように実現されるのかを問う。

教育学におけるニーチェ受容史に関する研究

松原 岳行著 8925円
青年の危険な誘惑者から教育学者、さらに教育者へと至るニーチェ像の変遷とその意味を解明。教育学とニーチェ思想との関係可能性を歴史的に検証する先駆的研究。

フランクフルト教育学への招待 —一人間としての在り方、生き方の探究—

広岡 義之著 3990円
フランクフルトの人間形成論・宗教教育論の内容を浮き彫りにした。ロゴセラピーを「超越性」との関わりで教育人間学の観点から把握したところに特色がある。

ドイツ化学教授学の成立に関する研究

藤井 浩樹著 8925円
ドイツ化学教授学の原型を確立したアレントの化学教授論の全容を解明。学校で化学を教えることの意義、及びその目的、内容、方法のあり方を歴史的に考察する。

大正期における新中間層主婦の時間意識の形成

佐藤裕紀子著 9450円
主婦の時間意識は近代化の過程でいかに形成されたどのような役割を演じたのか。「主婦之友」や家事教科書等を手掛かりに、近代日本の主婦と国家との関係を開示。

現代アメリカ初等歴史学習論研究 —客観主義から構築主義への変革—

田口 紘子著 6825円
授業記録における子どもの学びを通して、現代アメリカにおける初等歴史教育改革の方向と展望を、構築主義歴史学習論を抽出することにより解明した新著。

現代アメリカ初等法関連教育授業構成論研究

二階堂年恵著 7350円
現代アメリカで展開されている初等法関連教育の授業を社会科学教育の観点から類型化し、各授業構成の論理と法的資質を育成する意義と特質を解明した。

現代アメリカ社会科の展開と構造

田中 伸著 9975円
1960年代以降のアメリカ社会科教育の論理的構造転換を、学問・教育・社会の変化という背景的要因、並びに具体的な学習の変化という実体的分析に基づいて明らかにした。

「子供が良くなる講談社の絵本」の研究

阿部 紀子著 8400円
絵本史に大きな影響を与えた昭和10年代「講談社の絵本」叢書203冊を分析。細部まですべてデータ化し、CDに収録した。作品、作家、画家他、多様な検索が可能。

明治20・30年代における就学年齢の根拠に関する研究

近藤 幹生著 6285円
日本における6歳就学の根拠についての歴史研究。明治20・30年代の三島通良の所論に焦点をあて、就学する子どもの成長・発育へのまなざしに注目し論ずる。

明治初期における一斉教授法受容過程の研究

杉村 美佳著 7875円
19世紀アメリカにおいて等級制の一斉教授法が成立する過程を明確にした上で、こうした一斉教授法に関する情報が、明治初期の日本にいかにかに受容されたのかを解明。

驚異! 歴大なあの雑誌が 1 枚に!

好評
発売中

DVD-ROM

東洋学 文藝 雑誌

総約 **35,000** ページが
閲覧至便なツールとなり
復活!

学問分野を横断する
重要著述群の宝庫

医学 英語・英語教育 衛生学
音楽 化学 科学史 官僚・政
治家 気象 教育 経済・財政・
商業 実業 建築 工学 工業・
鉱業 鉱物 国文学・国語学・
国学 昆虫 細菌・衛生 外国
文学 地震 思想・啓蒙・哲学
社会 写真 宗教・神話 植物
心理 人類・考古 水産 数学
政治・政治家 生物 生理学・
生化学 造船 探険 地質 地
理 通信技術 鉄道 電気工学
天文 統計 動物 農業・農学
博物 美術・工芸 病理 物理
文学・小説・演劇 法律・法学
薬学 林学・林学 造園 歴史・
漢学……

【仕様】PDF形式 (Adobe Reader で閲覧:
Windows/Macintosh 可) / 原寸大モノクロ
画像収録 (見開き 2 頁が 1 コマ) / 「索引」
(html 形式) 2 種「巻号 (発行年月日-執
筆者)」「執筆者 (掲載巻号-発行年月日)」
で、目的号の初頁へ直接ジャンプ。

価格 75,000 円 (税別)

全 **567** 号

1881・明治 14 年～昭和 5 年・1930

1 枚
に収録

DVD-ROM

遂に成る!

現代日本の全学術分野の礎石となった雑誌の雄

近代日本形成期の半世紀にわたり君臨した
〈自然・人文・社会科学〉総合学術雑誌

西洋思潮をいち早く摂取し血肉と化してゆく学問の先導者たちの
成果が結集! 学問が細分化される前の〈総合〉であった時代の
息吹が、岐路に立つ今日の日本の学術研究者を強く鼓舞する!

全学府が備えるべき
必須雑誌

研究機関・図書館・研究者
《必備・必携》

〈教育〉関係
多数あり 必見!

「ひと・もの・こと」
調べるときの
力強い頼り!
基本資料

伝記叢書…………… 既刊361巻 (34 回配本)
こと典百科叢書 …… 既刊20巻 (3 回配本)
アジア学叢書 …… 既刊240巻 (30 回配本)
シリーズ 福祉に生きる … 既刊60巻

続々刊行中

学術図書出版
発行 **大空社**

〒114-0032 東京都北区中十条 4-3-2
TEL : 03-6454-3400
FAX : 03-6454-3433
URL: <http://www.ozorasha.co.jp>
E-mail: eigyo@ozorasha.co.jp

詳細内容見本進呈

社会の矛盾と向き合い、民衆と手を携えた学生たちの議論と交流の記録を、戦後学生運動史の重要資料として復刻刊行!

復刻版

学園評論 (改題誌『学生生活』を含む) 全9巻・付録1・別冊1

1952年7月～1956年11月 学園評論社

体裁=A5判・上製・総4,230頁

別冊=解題(中西直樹)・総目次・索引

*別冊のみ分売可=本体価格2,000円+税(2012年1月刊行予定)

付録=『わだつみに誓う—京大天皇事件の記録』(1951年12月)

『もう黙ってはいられない—東大事件はこれからもおこる』(1952年4月)

『日本学生詩集—ささやくように』(1953年4月)

『水爆よりも平和を』(1954年7月)

『世界の学生運動の新しい方向—第九回国際学連評議会報告・勧告集』(1954年8月)

推薦=宇野田尚哉・西山伸

配本=全3回(2011年7月～2012年7月)

揃価=本体揃価格170,000円+税

配本(復刻版巻数)	原本号数(原本発行年月)	配本年月 本体価格
第1回(第1巻～第3巻)	第1巻第1号～第3巻第2号 (1952年7月～1954年2月)	2011年7月 ¥51,000+税
第2回(第4巻～第6巻・別冊)	第3巻第3号～第4巻第7号 (1954年3月～1955年7月)	2012年1月 ¥51,000+税
第3回(第7巻～第9巻・付録)	第4巻第8号～第5巻第9号 (1955年8月～1956年11月)	2012年7月 ¥68,000+税

好評刊行中

『琉球教育』の後継誌である本誌は、教育に限らず、広く沖縄近代史の基礎的資料である。新規発掘号を多数収録して復刻!

復刻版 沖縄教育 全36巻・別冊1

1906年～1944年 沖縄県教育会/沖縄教育会 発行

体裁=B4・A5判・上製・総約13,200頁

別冊=解説(藤澤健一・近藤健一郎・梶村光郎・三島わか)・総目次・索引

*別冊のみ分売可=本体価格2,000円+税

配本=全6回(2009年11月～2012年5月 各配本毎¥90,000+税)

揃価=本体揃価格540,000円+税

近刊

『修身書』『日本語読本』他、1920～30年代にハワイで使われた教科書約90点を収録。

編集復刻版

ハワイ日本語学校教科書集成 全9巻

体裁=A4判(四面付け方式)・上製・総約2,800頁

解説=高木(北山)真理子

原本提供=ハワイ大学他

予価=本体揃価格225,000円+税

【2011年12月配本開始(全3回予定)】

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12
TEL03-3812-4433 FAX03-3812-4464
<http://www.fujishuppan.co.jp>

価格は税別
目録・見本送呈

統・近代日本教育会史研究

梶山雅史 編著 A5判・上製・512頁 定価6720円
 日本教育史上、新たな組織として登場した中央・地方教育会の設立から衰退に至る経緯、その実態・機能・歴史的役割に関する包括的な研究を通じて、改めて教育会史像の点検と再構築を提起する！

近代日本教員統制の展開

山田恵吾 著 A5判・上製・312頁 定価5040円
 地方学務当局と小学校教員社会の関係史

丹念に掘り起こした地方史料に基づいて、対立の背後で着実な結び付きを見せた地方学務当局との関係から、近代日本の教員社会の軌跡を捉える。大正自由教育「昭和初期郷土教育」総力戦体制下の教育の通説を捉え直した意欲作！

健康教育教科「保健科」成立の政策形成

七木田文彦 著 A5判・上製・304頁 定価5460円
 均質的健康空間の生成

1920年代から47年までを対象に、日本の学校において健康教育教科「保健科」が教育課程に位置づけられた過程を歴史的に考察。教科教育史の視点を越えて、生権力・身体論にまで視野を広げる。

学校における平和教育の思想と実践

西尾理 著 A5判・上製・520頁 定価7140円
 平和教育の体系化をめざして、戦後日本の平和教育の思想と実践を歴史的かつ包括的に網羅・分析。それを踏まえた独自の教材開発と学校カリキュラム化の提案に挑んだ画期的労作！

ヴィクトリア朝期の英国とアーノルド父子

宮川敏春 著 四六判・上製・208頁 定価2940円
 文学・教育・時代思潮をめぐって

英国パブリック・スクールの再生と繁栄の礎石となったラグビー校校長トマス・アーノルドと、その息子で詩人・評論家であり学校視学官であったマシュー・アーノルドに関して、日本では未開拓な分野に挑んだ先駆的な一冊！

デューイ実験学校と教師教育の展開

小柳正司 著 A5判・上製・416頁 定価6300円
 シカゴ大学時代の書簡の分析

シカゴ大学時代の書簡の分析を通じて、デューイ実験学校の開設に至る経緯と、その背景にあった彼の教育学構想を明らかにし、時代の要請を踏まえたデューイの教師教育の取り組みを丹念にとる。

戦前知的障害者施設の経営と実践の研究

山田明 著 A5判・並製・400頁 定価3990円
 施設経営と援助実践を中心に、戦前知的障害者施設が歩んできた歴史をたどり、その困難や努力に光をあてることを通じて、2006年の「障害者自立支援法」制定以降、危機的状況にある障害者福祉実践の進むべき方向を示唆する。



学術著作集ライブラリー

篠原助市著作集

【解説】木内陽一（鳴門教育大学教授）
 全7巻・A5判・上製・総3000頁 定価96600円
 教育研究について考えるとき、常に立ち返って読み直すことを求められる、その理論と体系の全貌を捉えるための著作集。



田中王堂著作集

【解説】年譜 北村実（早稲田大学名誉教授）
 全6巻・A5判・上製・総3000頁 定価98700円
 応用哲学・応用倫理の先駆者ともいえる、その多様な論文群を精選し、現代の問題意識に照らして編集した、復刻による本格的著作集。



続刊予定

長田新・谷本富・鈴木文治・高坂正顕・春山作樹・高群逸枝・小泉郁子・木村素衛・青木誠四郎 ほか

日本人の知性

A5判・上製・各巻平均280頁 各定価5040円

*哲学者、評論家、社会学者、文学者、教育学者、経済学者、ジャーナリストなどの「知性」をめぐるとさまざまな言説を人物ごとに集成！

*「知性」という概念やその機能の時代的変化を超えて、人間や社会のあり方の本質に迫った高く深い知性を提供！

*大正から昭和への移行期、太平洋戦争前後という激動の時代に書かれた各言説から、当時の日本の知的状況、西洋的思想に対する反応、政治的イデオロギーなど、新しく現れた社会の諸相を捉えることができる。

- ① 亀井勝一郎 ② 谷川徹三 ③ 小林秀雄 ④ 鈴木大拙
- ⑤ 和辻哲郎 ⑥ 中野好夫 ⑦ 長谷川如是閑 ⑧ 清水幾太郎
- ⑨ 小泉信三 ⑩ 大宅壮一 ⑪ 天野貞祐 ⑫ 南 博
- ⑬ 高橋義孝 ⑭ 中村光夫 ⑮ 奥野信太郎 ⑯ 賀川豊彦
- ⑰ 式場隆三郎 ⑱ 大内兵衛 ⑲ 辰野 隆 ⑳ 古谷綱武